

エラー メッセージ

エラー番号 2 - メモリ不足

説明: コンピュータのメモリを増やすか、モジュールをアンロードして、処理に使用する追加メモリを作成してください。

エラー番号 3 - 無効なメモリ ブロック

説明: 無効なメモリ ブロックがメモリ ハンドラに渡されました。テクニカル サポートにエラーを報告してください。

エラー番号 4 - 無効なパス id

説明: ファイルへのアクセスに無効なパス ID 記述子が使われています。テクニカル サポートにエラーを報告してください。

エラー番号 5 - ファイルのオープン エラー

説明: 必要なファイルを開けませんでした。TapeWare の [configuration] セクションで、databasePath が有効なパスであるか確認してください。このデータベースを使用している他の TapeWare システムがないか確認してください。

エラー番号 6 - ファイル シーク エラー

説明: ファイルの特定のアドレスをシークしようとしたときに、IO マネージャがエラーを検出しました。テクニカル サポートに連絡して、このエラーを報告してください。

エラー番号 7 - ファイル読み込みエラー

説明: データベースを読み込もうとしたときに、読み込みエラーが発生しました。データベースが壊れている可能性があります。データベースを修復するか、データベースのバックアップの入ったテープから回復してください

エラー番号 8 - ファイル書き込みエラー

説明: データベースに書き込もうとしたときに、書き込みエラーが発生しました。ディスクがいっぱいか、書き込み保護エラーが原因である可能性があります。データベースの含まれるディスクに十分なスペースがあるか確認してください。バックアップや回復ジョブの実行にはテンポラリ スペースが必要です。空きスペースが 10 ～ 20MB 未満の場合、ファイルをディスクから削除してもう一度実行してください。

エラー番号 9 - ファイル長取得エラー

説明: ファイル長を判断しようとしたときに、IO マネージャがエラーを検出したテクニカル サポートにエラーを報告してください。

エラー番号 10 - ファイル読み込みエラー

説明: ファイルを名前変更しようとしたときに、IO マネージャがエラーを検出した。テクニカル サポートにエラーを報告してください。

エラー番号 11 - ファイルが見つかりません

説明: ファイルを開こうとしたときに、IO マネージャが要求されたファイルを開けませんでした。ファイルがないか、可能性は低いですが使用中の可能性もあります。もう 1 度実行してください。問題が解決しない場合は、データベースを修復するか、データベースのバックアップの入ったテープから回復してください。

エラー番号 12 - DPMI エラー

説明: プロテクト モード/リアル モード操作をしようとしたときに、DPMI マネージャがリアル モードに切り替えられませんでした。要求された機能は実行されませんでした。テクニカル サポートにエラーを報告してください。

エラー番号 13 - モジュール ロード エラー

説明: モジュールをロードしようとしたときに、TapeWare はロードするモジュールを見つけられませんでした。またはモジュールの依存モジュールの 1 つが見つからなかったか、ロードできませんでした。

エラー番号 14 - 無効なモジュール フォーマット

説明: ロード中のモジュールは、TapeWare のモジュール フォーマットではありません。このモジュールは不正です。

エラー番号 15 - モジュール名がありません

説明: モジュールをロードしようとしたときに、モジュール名が指定されていませんでした。通常は、TapeWare.ini ファイルの構文が不正であることが原因です。

エラー番号 16 - 無効なモジュール名

説明: モジュール名は 31 文字以下にしてください。モジュールの基本名は最大で 31 文字までです。ただしパスは除きます。

エラー番号 17 - 作業がキャンセルされました

説明: この作業のスケジューラによって予定された作業がキャンセルされました。

エラー番号 18 - 作業を実行中です

説明: 予定された作業は現在実行中です。

エラー番号 19 - 作業が待ち行列に入りました

説明: 予定された作業は現在待ち行列に入っています。作業スレッドが空き次第、作業が実行されます。

エラー番号 20 - モジュールはリエントラントではありません

説明: 1 度しかロードできないモジュールを複数回ロードしようとしてしました。

エラー番号 21 - ドライバは実行中です

説明: ドライバ インスタンスは現在実行中です。

エラー番号 22 - ドライバは実行されていません

説明: ドライバ インスタンスは現在実行されていません。

エラー番号 23 - メッセージ ファイルが見つかりません

説明: 必要なメッセージ ファイルが見つかりませんでした。TapeWare の [configuration] セクションで、rooPath 設定に .msg の場所が正しく設定されているか確認してください。

エラー番号 24 - 無効なコマンドです

説明: 無効なコマンドまたはサポートされていないコマンドが受信されました。テクニカル サポートにエラーを報告してください。

エラー番号 25 - サービスは使用できません

説明: 操作をサポートするサービスがロードされていないか、ターゲット マシンで実行されていません。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートにエラーを報告してください。

エラー番号 26 - データ長が一致しません

説明: 検証で、ターゲットから読み込まれたデータとテープのデータの長さが一致しませんでした。ファイルは短縮されたか、ディスク上で拡張されています。このエラーは通信テストの実行時にも発生することがあります。

エラー番号 27 - データが一致しません

説明: 検証で、ターゲットから読み込まれたデータが一致しませんでした。ファイルがディスク上で変更されたか、ハードウェア エラーが発生しました。ファイルがディスク上で変更されたかどうか確認してください。ファイルが変更されていない場合は、テクニカル サポートにエラーを報告してください。

エラー番号 28 - 無効な接続です

説明: 接続ハンドルが無効になりました。データベースにログインしてからもう 1 度実行してください。接続されている 2 台のコンピュータが一定時間 (通常 5 分間) 通信できなかった場合に発生する通信エラーが原因です。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートにエラーを報告してください。

エラー番号 29 - 使用可能な接続がありません

説明: 接続テーブルがいっぱいです。[configuration] セクションの TapeWare.Ini ファイルで、connections= の値を増やし、接続テーブルのサイズを増やしてください。現在値は、マシンのプロパティの [診断] タブを検査して決定されます。

エラー番号 30 - 接続がビジーです

説明: 接続は現在ビジーです。

エラー番号 31 - 通信障害

説明: 接続を使用している 2 台のコンピュータ間で通信障害が検出されました。「一方」の接続がシャットダウン中か、オフである可能性があります。また、2 台のシステム間のケーブルの切断や、ネットワークの問題なども原因になることがあります。

エラー番号 32 - 互換性のあるトランスポートがありません

説明: ターゲット マシンとローカル マシンに共通するプロトコルが見つかりませんでした。相互に通信するためには、すべてのマシンに共通するプロトコルが少なくとも 1 つある必要があります。

エラー番号 33 - ネットワーク アドレスが見つかりません

説明: ネットワーク アドレスが見つからないか、ローカル マシンからは到達できません。

エラー番号 34 - 転送エラー

説明: ローカル マシンのプロトコル スタックへの転送ドライバ インタフェースが失敗しました。テクニカル サポートに問題を報告してください。

エラー番号 35 - パケットのフォーマットが違います

説明: 転送が間違ったフォーマットの packets を検出しました。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートにエラーを報告してください。

エラー番号 36 - 送信ハードウェア障害

説明: ローカル マシンのプロトコル スタックへの転送ドライバ インタフェースで、ネットワーク アダプタの障害が報告されました。テクニカル サポートに問題を報告してください。

エラー番号 37 - 未定義の転送エラー

説明: 転送で原因不明のエラーが検出されました。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートにエラーを報告してください。

エラー番号 38 - サービスはすでに宣言されています

説明: このサービスはすでにサービス マネージャに対して宣言されています。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 39 - サービスが宣言されていません

説明: サービスが宣言されていません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 40 - スタックを初期化できませんでした

説明: 転送プロトコル ドライバは内部スタック ドライバを初期化できませんでした。TCP/IP または IPX がロードされているか確認してください。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 41 - ローカル アドレスがありません

説明: 転送プロトコル ドライバでローカル アドレスが判断できませんでした。

エラー番号 42 - ソケットが開いています

説明: 転送プロトコル ドライバは TapeWare のソケットを開けませんでした。このマシンではすでに TapeWare が実行されている可能性があります。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 43 - ソケット バインド エラー

説明: 転送プロトコル ドライバを必要なアドレスにバインドできませんでした。

エラー番号 44 - アドバタイザが多すぎます

説明: 始動されているパブリック サービスが多すぎます。

エラー番号 45 - 無効な接続モードです

説明: 要求の実行のためにサービス接続を使おうとしました。

エラー番号 46 - サービスが見つかりません

説明: 希望するサービスが見つかりませんでした。サービスがアクティブではないか、サービスを提供するマシンが使用できません。

エラー番号 47 - サービス名が重複しています

説明: 新しいサービス (通常はデータベース サービス) を追加しようとしたときに、ネットワーク上に重複するサービスが見つかりました。TapeWare.Ini の [configuration] セクションで同じ名前の 2 台のマシンが設定されていて、両方のマシンが database servers createZone=Yes と宣言されていることが原因です。どちらかのマシンの名前を変更するか、createZone=No に設定してください。

エラー番号 48 - 無効なオブジェクト パス

説明: 入力したオブジェクト パスは正しいフォーマットではありません。データベースが壊れている可能性があります。

エラー番号 49 - 無効なオブジェクト クラス

説明: 入力したオブジェクト クラスは登録オブジェクト クラスで見つかりませんでした。通常は、補助データベース クラス ドライバがロードまたは初期化されていないことが原因です。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 50 - オブジェクト クラスはすでに登録されています

説明: そのオブジェクト クラスはすでに登録されています。重複するクラス識別子はサポートされていません。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 51 - データベースが壊れています

説明: データベースが壊れています。削除チェーンのレコードは、削除されてもフラグは付きません。データベースを修復するか、データベースをテープから回復してみてください。

エラー番号 52 - 無効なオブジェクト名

説明: 作成しようとしたオブジェクト名が無効であるか、または無効な文字が含まれています。

エラー番号 53 - オブジェクトはコンテナではありません

説明: コンテナ クラスではない親にオブジェクトを作成しようとしてしました。##

エラー番号 54 - オブジェクト名が重複しています

説明: 作成しようとしたオブジェクトと同じ名前、同じクラスのオブジェクトがすでに存在しています。別の名前を選択してください。

エラー番号 55 - バッファが小さすぎます

説明: 通信バッファが小さすぎるため、希望する情報を送受信できません。TapeWare.Ini の [configuration] セクションで、logPacketSize= の値を増やしてみてください。##

エラー番号 56 - 無効なプロパティです

説明: プロパティ id が無効です。このプロパティ id に対する特定のハンドラを持たない「仮想」プロパティを読み書きしようとしたことが原因です。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 57 - データベース ファイル ハンドルがありません

説明: データベース ファイルを開こうとしたときに、使用可能なファイル ハンドルがデータベース マネージャにありませんでした。後で実行してみてください。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 58 - 無効なデータベース ファイル ハンドル

説明: 渡されたデータベース ファイル ハンドルは不正か、有効ではありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 59 - データベース ソート バケットが不足しています

説明: ディレクトリ エントリの最大数に達しました。サブディレクトリごとのディレクトリ エントリの最大数は、現在 48000 です。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 60 - 無効なオブジェクト id

説明: 指定されたオブジェクト id は無効です。オブジェクトが削除された可能性があります。

エラー番号 61 - 無効なビューです

説明: 指定されたビューは有効ではありません。通信障害によりビューが解放された可能性があります。ログインし直して、もう 1 度実行してください。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 62 - ビュー ハンドルがありません

説明: データベース ビュー ハンドルの最大数に達しました。データベース セクションで `numberViews=` の値を増やしてください。

エラー番号 63 - 無効なデータ ストリーム ハンドルです

説明: スキャンのオープンやオブジェクトのオープンが要求された接続とは別の接続で、開いているスキャンやオブジェクトの操作が要求されました。

エラー番号 64 - プロパティが見つかりません

説明: 要求されたオブジェクト プロパティが見つかりませんでした。

エラー番号 65 - オブジェクトが見つかりません

説明: 要求されたオブジェクトが見つかりませんでした。

エラー番号 66 - オブジェクト セットがいっぱいです

説明: オブジェクト セット プロパティがいっぱいです。グループのメンバーは最大 125 ユーザ、またはユーザ 1 人につき 125 グループです。オブジェクトに追加したトラスティが多すぎる可能性もあります。

エラー番号 67 - 権利が不十分です

説明: 要求された操作をオブジェクトに実行するために必要な権利がありません。システム管理者に連絡して、権利を追加してください。

エラー番号 68 - スタックを初期化できません

説明: プロトコル スタックを初期化できません。

エラー番号 69 - アドバタイザが多すぎます

説明: 転送プロトコル上のリスナが多すぎます。

エラー番号 70 - 親が登録されていません

説明: 親オブジェクトは現在登録されていません。

エラー番号 71 - スレッドを作成できません

説明: 追加作業スレッドを作成できません。メモリ不足の可能性があります。

エラー番号 72 - スレッドを作成できません

説明: ローカル セマフォを作成できません。メモリ不足の可能性があります。

エラー番号 73 - ソケット オプション バインド エラー

説明: クリティカル ソケット オプションをソケットにバインドできません。このプロトコルは使用できません。

エラー番号 74 - オブジェクトはすでにロックされています

説明: このオブジェクトは、別のユーザがシステムによってすでにロックされています。後でもう 1 度実行してください。

エラー番号 75 - オブジェクトがロックされていません

説明: このオブジェクトはロックされていません。最初にオブジェクトをロックしないとこの操作は実行できません。

エラー番号 76 - オペレータによるキャンセル

説明: 操作が終了する前に、オペレータによりキャンセルされました。

エラー番号 77 - 実行されていません

説明: このオブジェクトは現在実行されていません。

エラー番号 78 - 無効なデータベース チケットです

説明: データベース セキュリティ チケットが不正に作成されました。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 79 - オブジェクトがアクティブではありません

説明: このオブジェクトはアクティブではありません。

エラー番号 80 - チケットが検証されていません

説明: データベース セキュリティ チケットはデータベースで検証されていません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 81 - 初期化されていません

説明: このドライバは初期化されていません。

エラー番号 82 - 内部: 使用されていません

説明: ドライバは初期化解除中です。

エラー番号 83 - 無効な日付です

説明: 日付が無効です。

エラー番号 84 - データベースにメディアがありません

説明: データベースにメディアがありません。インポートするか、別の情報で上書きするまでは読み込めません。

エラー番号 85 - インスタンスを持つオブジェクトを削除できません

説明: オブジェクトにインスタンスがある場合、オブジェクトは削除できません。インスタンスを削除するには、このオブジェクトのインスタンスが含まれるすべてのメディアをデータベースから削除してください。

エラー番号 86 - 内部: 使用されていません

説明: テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 87 - メディアが指定されていません

説明: メディアが指定されていないか、すべてのメディアが使用されているため、メディアを再使用してジョブを完了できません。メディアが指定されている場合は、使用中、フル、不正のいずれかの印が付きます。メディア フォルダやメディアを追加するか、オート フォーマットを選択して、追加のメディアを指定してください。

エラー番号 88 - デバイスが指定されていないか、すべてのデバイスがオフラインです

説明: ジョブの完了条件に合致するデバイスがありません。デバイスが指定されている場合は、通信障害やデバイス障害などで「デッド」状態であることを示す印が付きます。

エラー番号 89 - 不正なメディアです。デバイスはスキップされました

説明: デバイスのこのメディアはジョブの一部に指定されていません。このメディアはスキップされます。

エラー番号 90 - ソフトウェア評価期限が終了しました

説明: ソフトウェアの評価期間が終了しました。リセラーに連絡して、ライセンス製品を購入してください。

エラー番号 91 - 論理フォーマットは読み込み専用です

説明: このメディアの論理テープ フォーマットは読み込み専用です。ジョブ オプションで [上書き] を選択するか、テープを再フォーマットするか、または別のテープを使用してください。

エラー番号 92 - メディアの上書きは許可されていません

説明: このメディアの上書きは許可されていません。このメディアには、上書きが許可されていないテープのアーカイブ オブジェクトがあります。このテープに上書きする必要がある場合は、データベースからテープを削除して再フォーマットするか、ジョブをオートフォーマットに設定してください。

エラー番号 93 - 不良メディアです。読み込みだけが可能です。

説明: メディアへの最後の書き込み中に不良ブロックが検出されました。データベースではこのメディアは読み込み専用の印が付けられます。このメディアに問題がないことが分っている場合は、データベースからメディアを削除して再フォーマットできます。

エラー番号 94 - 操作はメディアがマウントされた後に有効になります

説明: テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 95 - バックアップ中にオブジェクトが開かれています。不良の可能性あります

説明: テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 96 - バックアップ中にオブジェクトが開かれています。おそらく不良です

説明: テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 98 - このメディアはこのジョブでは再使用できません

説明: このジョブ セッションですでにメディアに書き込みが行われたので、再書き込みはできません。

エラー番号 98 - インスタンスが見つかりませんでした

説明: インスタンス ルックアップでインスタンスが見つかりませんでした。

エラー番号 99 - デバイスから応答がありません

説明: このデバイスから応答がありません。デバイスが接続されていて、電源が入っていることを確認してください。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 100 - 延期エラー。別の送信が続いて行われます

説明: テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 101 - データは正しく比較されませんでした

説明: 検証で、ターゲットから読み込まれたデータが一致しませんでした。ファイルがディスク上で変更されたか、ハードウェア エラーが発生しました。ファイルがディスク上で変更されたかどうか確認してください。ファイルが変更されていない場合は、テクニカル サポートにエラーを報告してください。

エラー番号 102 - ストリーム同期エラー、ストリーム ヘッダが预期されていました

説明: ストリーム プロセス スレッドとストリーム 作業スレッド間で同期エラーが発生しました。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 103 - アラートに対してレスポンスがありません

説明: 保留されているアラートに対してユーザのレスポンスがありません。

エラー番号 104 - 初期化されていません

説明: オブジェクトの操作が実行されませんでした。オブジェクトの処理前にジョブがキャンセルされたか、エラー発生したためジョブが終了しました。

エラー番号 105 - ドライバは初期化中です

説明: このドライバは現在初期化中です。

エラー番号 106 - 使用できるデバイスがないか、すべてのデバイスがビジーです

説明: 現在すべてのデバイスが使用中でビジーです。後でもう 1 度実行してください。

エラー番号 107 - ローダのマガジンが変更されました

説明: ローダの再初期化から操作を実行するまでの間にローダのマガジンが変更されました。ローダの操作中は、ローダのドアを閉じておいてください。

エラー番号 108 - 無効なメディア ヘッダです

説明: テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 109 - このユーザにはホーム フォルダがありません

説明: このユーザのホーム フォルダが見つかりませんでした。このユーザの名前と同じ名前のフォルダが、\Database\Home フォルダにあることを確認してください。

エラー番号 110 - ローダに使用可能なメディアがありません

説明: ローダ内のテープの中には、ジョブの条件に合致するものはありませんでした。ジョブが指定するメディアと、ローダ内のメディアを確認してください。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 111 - NetWare NDS にログインできません

説明: ディレクトリ サービスにログインしようとしたときにエラーが発生したため、ログインが完了しませんでした。アカウント名が不正である可能性があります。アカウント名は、cn=admin.o=NDS のような形式である必要があります。またはパスワードが間違っています。

エラー番号 112 - ターゲット ホストと通信できません

説明: ターゲット マシンと通信しようとしたときに、ターゲット マシンがアクティブではないことが判明しました。後で実行してみてください。

エラー番号 113 - 無効な移動先です

説明: オブジェクトを別のロケーションに移動しようとしたときに、新しいロケーションと移動するオブジェクトに互換性がないことが判明しました。ジョブをサブディレクトリに移動するような場合と同様に、このオブジェクトは選択したコンテナのクラスには存在できません。または、ターゲット コンテナが元のコンテナの子です。

エラー番号 114 - 再配置マネージャ エラー

説明: テクニカル サポートに連絡してください。無効なライセンス ドキュメントです。TapeWare.Ini で指定されたライセンス ドキュメントが正しくないか、オプション パッケージの評価期間が終了しました。テクニカル サポートに連絡して、ご使用のソフトウェアの新しいライセンス ドキュメントを入手するか、営業部門に連絡して、オプション パッケージを購入してください。

エラー番号 126 - 無効なメッセージ ファイルです

説明: メッセージ ファイルの 1 つが無効であるか、不適切なバージョンです。TapeWare を再インストールして、ロードし直してください。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 127 - 使用可能なクリーニング カートリッジがありません

説明: オートローダに使用可能なクリーニング カートリッジがありません。クリーニング カートリッジを格納するスロットが定義されていないか、定義したクリーニング カートリッジは別のデバイスで使用中です。スロットをクリーニング カートリッジに定義するには、オートローダのステータス プロパティを選択して、クリーニング カートリッジを格納するスロットの要素ステータスを変更します。

エラー番号 128 - 使用可能なクリーニング サイクルがありません

説明: どのクリーニング カートリッジにもクリーニング サイクル数が残っていません。クリーニング カートリッジを新しいカートリッジと交換し、オートローダの [ステータス] プロパティを更新して新しいカートリッジ情報を反映させる必要があります。

エラー番号 129 - データベースはバックアップ中です

説明: データベース ファイルは現在バックアップ中です。データベースは変更されない可能性があります。後でもう 1 度実行してください。

エラー番号 130 - 回復したデータベースのファイル数が無効です

説明: 回復中のデータベースの管理ファイル数は無効です。データベース回復の最終段階でファイル数が正確かどうかチェックされます。このファイル数が間違っているか、データベースの回復が正常に終了しませんでした。

エラー番号 131 - 回復用のデータベース ファイルがありません

説明: データベースを回復するために必要なデータベース ファイルの 1 つがありません。

エラー番号 132 - 回復用のデータベース ファイルのサイズが間違っています

説明: データベースを回復するために必要なデータベース ファイルの 1 つのサイズが間違っています。ファイル サイズは回復プロセスの最終段階でチェックされ、ファイルが完全かどうか確認されます。

エラー番号 133 - アカウントが無効になっています

説明: このサーバのアカウントは無効になっています。管理者に連絡してアカウントを有効にしてください。

エラー番号 134 - パスワードの有効期限が切れています

説明: アカウントのパスワードの有効期限が切れています。次に進む前に、パスワードを変更してください。

エラー番号 135 - パスワードの有効期限が切れています

説明: アカウントのパスワードの有効期限が切れています。残りの猶予ログイン数によっては、すぐにパスワード変更する必要がある場合もありますが、その必要がない場合もあります。

エラー番号 136 - そのアカウントは存在しません

説明: 使用しようとしたアカウントはこのサーバには存在しません。

エラー番号 137 - アカウントの有効期限が切れています

説明: このサーバのアカウントの有効期限が切れています。管理者に連絡してアカウントを更新してください。

エラー番号 138 - 同時接続数を越えました

説明: このアカウントの同時ログインの上限を超えました。後でログインし直してください。

エラー番号 139 - 無効なマシンです

説明: ログインしようとしたマシンは、このアカウントでは使用できません。このアカウントは、このローカル マシンが含まれないマシン セットに制限されています。

エラー番号 140 - パスワードは変更されませんでした

説明: パスワードは変更されませんでした。古いパスワードが間違っているか、新しいパスワードがすでに使用されている可能性があります。

エラー番号 141 - 入力されたパスワードが正しくありません

説明: 入力されたパスワードが正しくありません。パスワードをもう 1 度入力してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

エラー番号 144 - インポートされたシンボルが見つかりません

説明: 新しいバージョンの CLib にアップグレードする必要があるかもしれません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 145 - 印刷エラー

説明: プリンタに出力しようとしたときに、エラーが発生しました。プリンタがオフラインになっているか、用紙切れか、電源が入っていない可能性があります。プリンタをチェックしてください。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 146 - 電子メール プロバイダを初期化できません

説明: 電子メール プロバイダを初期化しようとしたときに、エラーが発生しました。電子メール サービスが正しくインストールされていることを確認してください。詳しい情報については、データベース サーバの TapeWare ログを参照してください。

エラー番号 147 - 電子メールを送信できません

説明: 電子メールを送信しようとしたときに、電子メール プロバイダで致命的なエラーが発生しました。電子メール サービスが正しくインストールされていることを確認してください。詳しい情報については、データベース サーバの TapeWare ログを参照してください。

エラー番号 148 - ソフトウェアのベータ期間が終了しました

説明: ソフトウェアのベータ期間が終了しました。リセラーに連絡して、ライセンス製品を購入してください。

エラー番号 178 - 間違ったメディアです、新しいメディアが要求されます。

説明: このジョブと互換性のあるセットから新しいメディアを挿入してください。

エラー番号 179 - マシンを再起動してください。

説明: 復元を完了するには、復元先のマシンをシャットダウンして再起動する必要があります。これは、復元プロセスで使用されたままのファイルがあるためです。

エラー番号 180 - TapeWare を再起動してください。

説明: 復元プロセスを完了するには、TapeWare をシャットダウンして再起動する必要があります。

"TapeWare をサービスとして実行している場合は、そのサービスもシャットダウンしてください。

"TapeWare データベースを復元した場合は、ストレージ マネジメントサーバ もシャットダウンして再起動してください。

エラー番号 195 - データベース ファイルを開けません

説明: データベース ファイルを開くときにエラーが発生しました。TapeWare.Ini の [configuration] セクションの databasePath= 設定を確認してください。DOS 上で実行している場合は、c:\config.sys で files=40 が設定されていることを確認してください。

エラー番号 196 - ????.ini ファイルを開けません

説明: 必要な ????.ini ファイルを開けません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 197 - TapeWare.Ini を開けません

説明: 環境設定ファイル TapeWare.Ini を開けません。このファイルは TapeWare のルート ディレクトリにある必要があります。このディレクトリは、実行可能ファイル TWADMIN.EXE (TWADMIN.NLM for NetWare) のあるディレクトリです。このファイルが見つからない場合は、TapeWare を再インストールしてください。

エラー番号 198 - DPMI コール エラー

説明: DPMI コール エラー

エラー番号 199 - ドライバがありません

説明: ドライバがありません。

エラー番号 200 - 属性バッファがありません

説明: 属性の読み込みや書き込みを行おうとしましたが、属性バッファが割り当てられていませんでした。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 201 - 属性の最後

説明: バッファから属性を読み込もうとしたときに、バッファの最後に達しました。

エラー番号 202 - バッファが小さすぎます

説明: 属性バッファが小さすぎて拡張できません。

エラー番号 203 - 属性構造の不一致

説明: タグ付き構造を属性バッファから読み込むときに、要求された構造のサイズとバッファに存在する構造のサイズが一致しませんでした。

エラー番号 204 - Dword 構造の不一致

説明: タグ付き Dword を属性バッファから読み込むときに、要求された Dword のサイズとバッファに存在する Dword のサイズが一致しませんでした。

エラー番号 205 - スパース属性の書き込み

説明: 発呼者が、連続していないタグ付きバッファに情報を書き込もうとしました。

エラー番号 206 - 無効な操作

説明: 操作を行おうとしたときに、その操作とオブジェクトの元々の目的に互換性がありませんでした。たとえば、回復のために開かれたオブジェクトを読み込もうとしました。

エラー番号 207 - 無効な操作

説明: オブジェクトを開くときに無効なオープン モードが指定されました。

エラー番号 208 - オブジェクトが見つかりません

説明: 指定されたオブジェクトが見つからないか、存在しません。

エラー番号 209 - オブジェクトがビジーです

説明: 指定されたオブジェクトはビジーで、別のプロセスで使用されています。

エラー番号 210 - オブジェクトはすでに存在しています

説明: 指定されたオブジェクトはすでに存在しているので削除できません。

エラー番号 211 - アドバタイザが多すぎます

説明: 新しいハンドルを割り当てて開くまたは作成しようとしたときに、データ ストリーム マネージャがハンドル不足になりました。

エラー番号 212 - 原因不明のエラー

説明: 原因不明のエラーがデータ ストリーム マネージャで発生しました。

エラー番号 213 - デッドロックをロックしています

説明: オペレーティング システムで、ロック要求を許可するとデッドロックが発生すると判断されました。

エラー番号 214 - 不正なハンドル

説明: 使用されているデータ ストリーム ハンドルが無効になりました。

エラー番号 215 - 無効な引数

説明: ストリーム マネージャに渡された引数が無効です。

エラー番号 216 - 無効な操作

説明: ストリーム マネージャに渡された論理ストリームが無効です。

エラー番号 217 - ストリームの最後

説明: 論理データ ストリームの最後に達しました。

エラー番号 218 - 十分な許可がありません

説明: 有効なユーザ id とファイルやディレクトリの所有者が一致しません。有効なユーザ id が、ルートまたはスーパーバイザを表すゼロではありません。

エラー番号 219 - 読み込み専用ファイルシステム

説明: ターゲットファイルシステムは読み出し専用なので、ファイルやディレクトリを作成できませんでした。

エラー番号 220 - 無効な圧縮ヘッダ

説明: ファイルを圧縮解除するときに、有効に必要な圧縮解除ヘッダがないことがファイルシステムで検出されました。ハードウェアに障害があるか、データベースに含まれるこのファイルの情報が間違っている可能性があります。

エラー番号 300 - コントローラ コマンド オーラップが試行されました

説明: 最初のコマンドが完了する前に、デバイスに対して次のコマンドを発行しようとした。コマンドシーケンス/強制排除に問題があるか、デバイスに問題がある可能性があります。

エラー番号 301 - アボート コマンドが失敗しました

説明: ASPI コマンドを中止しようとして失敗しました。ASPI ではコマンドの中止は保証されていません。

エラー番号 302 - ASPI バッファが大きすぎます

説明: ASPI マネージャの処理能力を超える物理転送を行おうとしました。

エラー番号 303 - ASPI がビジーです

説明: ASPI は最大限のコマンドを待ち行列に入れているため、これ以上は受け付けられません。コマンドの負荷が減るまで待って、もう 1 度実行してください。

エラー番号 304 - ASPI コマンドが中止されました

説明: ASPI コマンドは正常に中止されました。

エラー番号 305 - 処理中に ASPI がタイムアウトしました

説明: 処理中にコマンドタイムアウトが発生しました。デバイスやコントローラ、SCSI バスに問題がないか確認してください。

エラー番号 306 - 処理待ち中に ASPI がタイムアウトしました

説明: 待ち行列の処理待ち中にコマンドタイムアウトが発生しました。デバイスやコントローラ、SCSI バスに問題がないか確認してください。

エラー番号 307 - 原因不明の ASPI ステータス

説明: 未定義の ASPI ステータスの ASPI がコマンドから返されました。コマンドは失敗したと見なされます。

エラー番号 308 - ASPI 自動要求検出が失敗しました

説明: コマンド失敗後に検出情報を取得しようとして、ASPI がチェック コンディション ステータスで失敗しました。

エラー番号 309 - バッファが整列されていません

説明: 境界整列条件に合致しない ASPI にバッファが供給されました。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 310 - SCSI バスのリセットが検出されました

説明: ASPI で SCSI バスのリセットが検出され、コマンドは終了しました。

エラー番号 311 - ステータス チェック状態

説明: SCSI コマンドがチェック状態で終了し、具体的なエラー原因が判断できませんでした。

エラー番号 312 - ステータス エラー

説明: SCSI コマンドがエラー状態で完了し、具体的なエラー原因が判断できませんでした。

エラー番号 313 - デバイス セキュリティ違反です

説明: アクセス特権を持たないプロセスからデバイスにアクセスしようとしてしました。

エラー番号 314 - デバイス選択がタイムアウトしました

説明: SCIS バス上のデバイスを選択しようとしてタイムアウトしました。デバイスが応答しないか、オフになっているか、接続されていないか、または間違った SCIS id で選択しようとしてしました。

エラー番号 315 - デバイスのリセットが検出されました

説明: ASPI で、バス デバイス自体に送られるリセットが検出されました。

エラー番号 316 - デバイスのリセットが失敗しました

説明: バス デバイス リセットを発行しようとして失敗しました。デバイスがバス デバイス リセットに応答しない場合、手動でリセットする必要があるかもしれません。

エラー番号 317 - スレッド ウェイト セマフォ イベントを作成できませんでした

説明: デバイス サービス スレッド ウェイト セマフォを作成しようとして失敗しました。コントローラは、このスレッドとセマフォの作成対象のデバイスにサービスできません。オペレーティング システムに重大な問題がある可能性があります。

エラー番号 318 - 不明なホスト アダプタ ステータスです

説明: 未定義のホスト アダプタ ステータスでコマンドが完了しました。アダプタまたは ASPI に問題がある可能性があります。

エラー番号 319 - ホスト アダプタが応答しません

説明: ホスト アダプタが ASPI コマンドに応答しません。ハードウェアまたはソフトウェアに問題がある可能性があります。ホスト アダプタを応答させるには、完全に電源を切ってからシステムを再起動する必要があるかもしれません。

エラー番号 320 - 無効な ASPI コマンドです

説明: 無効な ASPI コマンドが発行されました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 321 - 無効なコントローラ コマンドです

説明: コントローラ ドライバが無効なコマンドを受信しました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 322 - 無効なホスト アダプタ id です

説明: 無効な id でホスト アダプタにアクセスしようとしてしました。使用するホスト アダプタの ASPI ドライバがロードされているか確認してください。

エラー番号 323 - 無効な IOCTL コマンドです

説明: 無効なコマンドでコントローラ I/O 制御機能にアクセスしようとしてしました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 324 - 無効な SRB パラメータです

説明: 無効なパラメータで ASPI srb を実行しようとしてしました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 325 - SCSI 拒否メッセージを受信しました

説明: デバイスは SCSI コマンドに拒否メッセージで応答しました。デバイスが同期転送ネゴシエーションを拒否したことが原因である場合、このデバイスでは同期転送がサポートされていない可能性があります。その場合、コントローラでデバイスの同期転送を無効にしてください。

エラー番号 326 - ASPI マネージャがありません

説明: ASPI マネージャが見つかりませんでした。TapeWare でコントローラと ASPI マネージャを使用するには、オペレーティング システムによって適切なコントローラと ASPI マネージャがロードされている必要があります。ロード方法は使用しているオペレーティング システム (NetWare、Windows 等) の種類によって変わります。

エラー番号 327 - デバイスが見つからないか、応答しません

説明: 存在しないデバイスまたは応答がないデバイスにコマンドを実行しようとしてしました。対象のデバイスが接続されていて、SCSI コマンドに応答することを確認してください。

エラー番号 328 - スレッド待ちセマフォがありません

説明: コントローラ上のデバイスを起動せずにデバイスにコマンドを発行しようとしてしました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 329 - SCSI パリティ エラーが検出されました

説明: SCSI バス パリティ エラーが発生しました。SCSI バスの終端に問題があるか、デバイス/コントローラに設定に問題があるか、デバイスかコントローラのハードウェアに問題がある可能性があります。

エラー番号 330 - ターゲット バス フェーズ シーケンス

説明: ターゲット デバイスが原因の SCSI バス フェーズ シーケンス エラーが ASPI で検出されました。SCSI バスに問題があるか、デバイスに障害がある可能性があります。

エラー番号 331 - スレッド待ちセマフォ信号が失敗しました

説明: デバイス サービス スレッドに信号を送れませんでした。この問題を解決するまで関連デバイスは使用できません。デバイス ドライバを停止して再起動すると問題が解決されることがあります。ただし、セマフォ信号が失敗した原因はオペレーティング システムの問題である可能性もあります。

エラー番号 332 - アドバイザが多すぎます

説明: 1 つのコントローラで多すぎるデバイスにサービスを行おうとしてしました。1 つの SCSI バスでサポートされるデバイスの最大数は 14 です。

エラー番号 333 - 予期しないバス フリーです

説明: SCSI バスが予期せずバス フリー ステータスになりました。ターゲット デバイスに問題があるか、SCSI バスがターゲットから物理的に接続解除されました。

エラー番号 334 - ホスト アダプタがありません

説明: ホスト アダプタの ASPI コントローラ ドライバをロードできませんでした。このホスト アダプタの ASPI がないか、正しく応答しません。

エラー番号 335 - コマンド実行中にデバイスが変更されました

説明: コマンドを実行中にデバイス ドライバが変更されました。このコマンドは完了できません。TapeWare でアクティブに使用されている場合、デバイスを停止したり起動してはいけません。

エラー番号 336 - 要求されたデバイスにアクセスできません

説明: 要求されたデバイスのデバイス ハンドルを取得できませんでした。このハンドルがないとデバイスにアクセスできません。要求元ドライバが原因でデバイスが非標準の名前を受信した場合、デバイスを要求解除すると使用できる可能性があります。要求元ドライバがロードされないように、システムを再構成してください。

エラー番号 337 - デバイスを排他的に開けませんでした

説明: TapeWare では排他的使用が可能な場合のみデバイスが使用されます。その他のプログラムでデバイスが要求されると、TapeWare は排他的使用を取得できません。TapeWare でデバイスを使用したい場合は、それ以外の要求元がデバイス要求を放棄しなければなりません。

エラー番号 338 - SCSI バスの問い合わせが失敗しました

説明: デバイスをスキャンしようとしたときに、SCSI バスの問い合わせが失敗しました。SCSI ミニポートに問題があるか、システムにその他の問題がある可能性があります。問題が解決されるまでこのコントローラではデバイスがサポートされません。

エラー番号 339 - ポート機能を取得できません

説明: ポート機能を取得中にエラーが発生したためドライバを初期化できませんでした。SCSI ミニポートに問題があるか、システムにその他の問題がある可能性があります。

エラー番号 340 - SCSI ポートを開けませんでした

説明: SCSI ポートが開けなかったためドライバを初期化できませんでした。SCSI ミニポートに問題があるか、システムにその他の問題がある可能性があります。

エラー番号 400 - オートローダが停止しました

説明: SCSI コントローラ ドライバが停止されたためオートローダ デバイスが停止しました。

エラー番号 401 - バッファが空です

説明: デバイス バッファが空です。

エラー番号 402 - バッファがいっぱいです

説明: デバイス バッファがいっぱいです。

エラー番号 403 - コマンドが設定されていません

説明: 用意されていないパラメータ ブロックでコントローラ コマンドを発行しようとしてしました。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 404 - コマンドがタイムアウトしました

説明: デバイスに対するコマンドがタイムアウトしました。このコマンドを中止しようとしてしました。デバイスかコントローラから応答がない可能性があります。正しい応答を得るにはデバイスをリセットするか、システムの電源を切って再起動する必要があるかもしれません。デバイスかコントローラのハードウェアに問題がある可能性があります。

エラー番号 405 - コントローラが停止しました

説明: デバイスのコントローラが停止されたためデバイスが停止しました。

エラー番号 406 - コントローラが見つかりません

説明: 指定されたコントローラが見つからないためデバイスまたはオートローダ ドライバをアクティブにできません。正しいコントローラが指定され、コントローラがロードおよび初期化されていることを確認してください。デバイスの自動検出を使用している場合、このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 407 - デバイス id の衝突です

説明: 1 つの SCSI バス上で同じ SCSI Id と Lun を持つ 2 つ以上のデバイスが指定されました。デバイスやホスト アダプタに衝突する SCSI Id や Lun が指定されていないことを確認してください。自動検出を使用していない場合は、TapeWare.Ini のコントローラやデバイスのロード指定個所に Id/Lun の衝突が表示されていないことを確認してください。

エラー番号 408 - ホスト アダプタ id の衝突です

説明: SCSI ホスト アダプタと同じ id を持つデバイスが指定されました。デバイスやホスト アダプタに衝突する SCSI Id や Lun が指定されていないことを確認してください。自動検出を使用していない場合は、TapeWare.Ini のコントローラやデバイスのロード指定個所に Id/Lun の衝突が表示されていないことを確認してください。

エラー番号 409 - デバイスは使用中です

説明: 別の TapeWare ユーザまたはジョブで、デバイスが排他的使用に予約されています。別のデバイスを使用するか、後でもう 1 度実行するか、デバイスの使用者がデバイスを解放できないか判断してください。

エラー番号 410 - 無効なブロック サイズです

説明: デバイスのメディアは再フォーマットしないと TapeWare では使用できません。ブロック サイズは、512 バイトまたは 32768 バイトの偶数乗でなければなりません。

エラー番号 411 - 無効なコントローラ インスタンス id です

説明: コントローラ コマンドが無効な/非アクティブのコントローラ インスタンス id で送信されたか、コマンドの完了待ち中にコントローラ インスタンスが無効になりました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 412 - 無効な接続です

説明: 予約されていないデバイスにアクセスしようとしたか、別のユーザやプロセスで予約済みのデバイスにアクセスしようしました。

エラー番号 413 - バッファがありません

説明: デバイス バッファを割り当てずにデバイスの読み込み/書き込み操作を行おうとしました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 414 - コントローラ インスタンスがありません

説明: I/O パラメータ ブロックにコントローラ インスタンス id がないのにコントローラ コマンドを送信しようしました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 415 - フォーマットされていません

説明: このデバイスのメディアはフォーマットされていないか、空です。このメディアを使うには、フォーマットするかバックアップ時に TapeWare で自動フォーマットしてください。

エラー番号 416 - 無効な SCSI コマンドです

説明: TapeWare でサポートされていない SCSI コマンドを作成しようとしてしました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 417 - 認識できないフォーマットです

説明: このデバイスのメディアは現在ロードされている論理フォーマット ドライバでは認識できないフォーマットです。このメディアのフォーマットが分っていて、そのフォーマットの TapeWare フォーマット ドライバがある場合は、先にそのフォーマット ドライバをロードする必要があります。メディアに実用的な情報がないと分っている場合は、フォーマットして TapeWare で使用してください。

エラー番号 418 - ターゲット LTF がロードされていません

説明: フォーマット ドライバがロードされていない論理フォーマットの使用が要求されました。適切なドライバがロードされていることを確認して、もう 1 度実行してください。

エラー番号 419 - ロードに必要なデバイスが見つかりません

説明: オートローダがサービスするデバイスを検索しています。デバイス ドライバがロードされなかったか、アクティブにならなかったか、停止されています。ローダのデバイスのデバイス ドライバがロードおよびアクティブ化されていることを確認し、ローダを再起動してみてください。

エラー番号 500 - デバイスはすでに開かれています

説明: すでに開いているテープ デバイスを開こうとしてしました。このエラーは重大なエラーの場合に発生することがありますが、それ以外で発生することはありません。エラーを回復した後もデバイスが「開いている」可能性があります。デバイス ドライバを停止して再始動してください。

エラー番号 501 - メディア パーティションの最初

説明: このメディアはパーティションの最初に配置されています。

エラー番号 502 - デバイスがビジーです

説明: デバイスがコマンドを受け付けることができません。時間がたてば受け付けることができるかもしれません。この状態が解決しない続く場合は、デバイスに問題がある可能性があります。

エラー番号 503 - コマンドがキャンセルされました

説明: デバイスへの最後のコマンドがキャンセルされました。

エラー番号 504 - コマンドが中止されました

説明: デバイスによってコマンドが中止されました。デバイスに問題があるか、送信コマンドか送信順序に問題がある可能性があります。このエラーが定期的または頻繁に発生する場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 505 - 無効なコマンド パラメータです

説明: デバイス ドライバに無効なコマンド パラメータが渡されました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 506 - コマンド パラメータがサポートされていません

説明: デバイス ドライバにサポートされていないコマンド パラメータが渡されました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 507 - コマンド待ち行列がいっぱいです

説明: デバイス コマンド待ち行列がいっぱいです。通常はシーケンシャル アクセス デバイスではコマンド キューイングがサポートされていないため、このエラーが表示されることはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 508 - コマンドが終了しました

説明: TapeWare では i/o 終了メッセージは送信されないため、このエラーが表示されることはありません。表示された場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 509 - デバイスが接続されていません

説明: サポートされているデバイスの物理デバイス ユニットの論理ユニットの一部であるため、このエラーが表示されることはありません。表示された場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 510 - デバイスは LUN ではサポートされていません

説明: ターゲットではこの論理ユニット上の物理デバイスをサポートできません。自動検出を使用していない場合は、TapeWare.ini のデバイス指定で正しい SCSI id や LUN が設定されていることを確認してください。

エラー番号 511 - 無効な周辺装置修飾子です

説明: これは予約値に指定されています。デバイスが ANSI 仕様に適合していない場合、ドライバは初期化されません。

エラー番号 512 - ベンダ固有の修飾子です

説明: これはベンダ固有値に指定されています。このようなデバイスをサポートするには詳しい情報が必要です。このデバイスを使用する場合は、テクニカル サポートに連絡して可能な手段がないか確認してください。

エラー番号 513 - デバイスでコマンドがサポートされていません

説明: このエラーは、サポートされていないコマンドがデバイスに発行されたときに発生します。このエラーが発生することはありません。デバイスの初期化ファイルを修正して、デバイスに制限を追加する必要があります。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 514 - ストリームの最後

説明: 回復や検証中にこのエラーが発生した場合は、ある種のテープ データ ストリーム エラーが発生しています。メディア不良、デバイスの問題、ドライバ/フォーマッタの問題、データベースの破壊などの多くの異なった問題がある可能性があります。詳しい情報はジョブ ログをチェックしてください。可能であれば、違うメディア/デバイスでもう 1 度実行してください。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 515 - キャンセルできませんでした

説明: デバイス コマンドをキャンセルしようとして失敗しました。コマンドの中止は保証されていないため、このエラーは高い確率で発生します。このエラーは TapeWare がドライバをアンロード中の場合に問題となり、リソース解放不可、プロセッサ実行例外およびアクセス違反が発生します。残念ながらこのエラーに対する良い対処法はありません。

エラー番号 516 - ファイルマークが検出されました

説明: テープ読み込み操作中にファイルマークが検出されました。これは正常な操作であり、普通はこの「エラー」は報告されません。このエラーが発生した場合、エラーが報告される操作を行ったことを確認してください。

エラー番号 517 - ハードウェア障害

説明: コマンドに対してデバイスでハードウェア障害が報告されました。このエラーはデバイスをリセットすると解決することがあります。エラーが解決しない場合、デバイスを修理または交換する必要があります。

エラー番号 518 - 不正な長さです

説明: テープ コマンドに不正なブロック長が設定されました。通常これは内部で処理され、報告されません。エラーが報告された場合は、デバイス/メディアに問題がある可能性があります。デバイス初期化ファイル (TWtapdev.ini) の間違っった情報が問題である可能性があります。デバイス初期化ファイルの問題である場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 519 - 不正な要求です

説明: デバイスに発行されたコマンドには不正な要求が含まれています。通常このエラーは内部で処理されます。このエラーが表示された場合は、デバイス初期化ファイル (TWldrdev.ini) にエラーがある可能性があります。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 520 - 不正な検出キーです

説明: チェック状態後に、検出データ内の不正な検出キーがデバイスから返されました。デバイスが仕様に適合していないか、デバイスのハードウェアまたはファームウェアに問題があります。

エラー番号 521 - 非互換のテープ フォーマットです

説明: デバイスのメディアのロー レベル フォーマットは、TapeWare で読み込めないフォーマットです。メディアに実用的な情報が含まれていない場合は、手動または自動でフォーマットして TapeWare で使用できます。注意: フォーマット後は、テープに含まれていた情報は特殊な装置を使用しないと回復できません。

エラー番号 522 - 説明不能の状態

説明: TapeWare はこの状態を生成するコマンドは発行しないため、説明できないステータスがデバイスから返されました。デバイスが仕様に適合していないか、動作不良である可能性があります。

エラー番号 523 - 無効なデバイス コマンドです

説明: 無効なデバイス コマンドを実行しようとしてしました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 524 - 無効な IOCTL コマンドです

説明: デバイス ドライバが無効な I/O コントロール コマンドを受信しました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 525 - 無効なオープン フラグです

説明: 無効なオープン モード フラグでデバイスを開こうとしてしました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 526 - 無効な SCSI ステータスです

説明: コマンドに対して無効な SCSI ステータスがデバイスから返されました。デバイスが仕様に適合していない、動作不良である、SCSI バスやコントローラに問題がある可能性があります。

エラー番号 527 - 無効な検出キーです

説明: デバイスから返された検出データに未定義の検出キー値が含まれています。デバイスが仕様に適合していない、動作不良である、SCSI バスやコントローラに問題がある可能性があります。

エラー番号 528 - メディアの論理上の最後です

説明: バックアップ中であればこのエラーは正常で、問題なく処理されます。新しいメディアを要求されるかもしれません。また/あるいはデータ ストリームが別のデバイスに送られている可能性があります。回復や検証中にこのエラーが発生した場合、テープ データ ストリーム エラーの可能性があります。メディア不良、デバイスの問題、ドライバ/フォーマットの問題、データベースの破壊などの多くの異なった問題がある可能性があります。詳しい情報はジョブ ログをチェックしてください。可能であれば、違うメディア/デバイスでもう 1 度実行してください。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 529 - メディア データ エラーが検出されました

説明: デバイスがメディア エラーを検出しました。メディアが不良または古くなっているか、デバイスのクリーニングの必要があるか、ハードウェアに問題がある可能性があります。また、圧縮をサポートしていないデバイスで圧縮フォーマットのメディアを使用しようとしたときにもこのエラーが発生します。ヘッドのクリーニング、別のメディア/デバイス、メディアの一括消去を試してください。ただし、メディアの一括消去はメディア/デバイスで記録済みのサーボトラックが使用されていない場合だけにしてください。

エラー番号 530 - メディア クラスが指定されていません

説明: このエラーの原因は、デバイス初期化ファイル (TWtapdev.ini) のエラーです。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 531 - ANSI SCSI-1 または SSCI-2 ではありません

説明: デバイスは ANSI SCSI-1 または SCSI-2 仕様に適合していません。TapeWare ではそのようなデバイスのドライバは初期化されません。デバイスを再設定して仕様に適合させると、TapeWare でサポートできる可能性があります。

エラー番号 532 - 読み込むデバイスが開いていません

説明: 読み込むデバイスを開かずにデバイスから読み込もうとしました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 533 - 書き込むデバイスが開いていません

説明: 書き込むデバイスを開かずにデバイスに書き込み操作を行おうとしました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 534 - デバイスの準備ができていません

説明: デバイスの準備ができていませんが、準備完了中です。このエラーは自動的に処理されます。このエラーを検出した場合は、数秒待ってからもう 1 度実行してください。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 535 - デバイスは初期化コマンドが必要です

説明: デバイスの準備ができていません。初期化コマンドが必要です。通常このエラーは自動的に処理されます。このエラーを検出した場合は、メディアをイジェクトしてから再挿入してみてください。通常はこれでメディアがオートロードされます。デバイスがメディアをオートロードする設定になっていない場合は、挿入されたメディアをオードロードするようにデバイスを設定してください。

エラー番号 536 - デバイスにメディアがありません

説明: デバイスにメディアがありません。ジョブを実行中の場合は [Cancel] を選択し、ジョブで使用されているデバイス リストからデバイスを削除してください。

エラー番号 537 - シーケンシャル デバイスではありません

説明: テープ デバイス ドライバは、シーケンシャル デバイス以外のデバイスは初期化しません。自動検出を使用していない場合は、TapeWare.Ini のテープ デバイス指定で正しい SCSI id や LUN が設定されていることを確認してください。自動検出を使用している場合、このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 538 - メディアの物理上の最後です

説明: メディアの物理上の最後が検出されました。TapeWare は一般的な処理方法を採用しておりメディアの論理上の最後では停止するため、このエラーが発生することはありません。メディアの論理上の最後を報告しないようにデバイスが設定されていない可能性があります。その場合、メディアの論理上の最後を報告するようにデバイスを再設定してみてください。デバイスの動作不良の可能性もあります。回復や検証中にこのエラーが発生した場合は、テープ データ ストリームに問題がある可能性があります。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 539 - 物理位置が不明です

説明: Exabyte EXB_8200 を使用している場合、TapeWare はデバイスのブロック位置を追跡する必要があります。このエラーは、ある状態が発生して TapeWare が物理位置を失ったことを意味します。巻き戻しコマンドを発行するか失敗した操作を再始動すると、物理位置が再び確立されます。エラーが再発する場合、デバイスに問題があるかもしれません。デバイスの動作不良ではないことが分った場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 540 - 準備待ち中にタイムアウトしました

説明: デバイスにアクセスしようとして、デバイスの準備ができるのを待っている間にタイムアウトになりました。デバイスの動作不良の可能性もあります。準備完了までに 90 秒以上かかる場合にタイムアウトが発生します。その場合は、90 秒以上待ってからもう 1 度実行してみてください。準備に 90 秒以上かかる場合は、テクニカル サポートに連絡してください。固定値を延ばすか、変数値のサポートを追加します。

エラー番号 541 - デバイスは別のホストで予約されています

説明: SCSI デバイスが別のホストで予約されました。別のホストがこのデバイスを解放するのを待つか、予約したホストを検索してデバイスを解放させてください。障害発生時にもデバイスがこの状態になっていることがあるため、デバイスをリセットする必要があります。

エラー番号 542 - セットマークが検出されました

説明: テープ読み込み操作中にセットマークが検出されました。これは正常な操作であり、普通はこの「エラー」は報告されません。このエラーが発生した場合、エラーが報告される操作を行ったことを確認してください。

エラー番号 543 - ユニット注意

説明: デバイス ステータスが変更されました。これはデバイスの電源を入れたりリセットした場合、またはメディアが変更された場合に発生します。これは正常な操作であり、普通はこの「エラー」は報告されません。このエラーが報告された場合は、もう 1 度操作を実行すると、この状態は自動的に解決します。

エラー番号 544 - 認識できない/サポートされていないデバイスです

説明: デバイス ドライバをロードしようとしたが、デバイス製造元とモデル情報に一致するデバイス初期化ファイル (TWtapdev.ini) のエントリがありませんでした。デバイスはサポートできるかもしれませんが、最近 ID を変更できるデバイスが製造されています。OEM またはディストリビュータがデバイス ID を変更した可能性があります。違う ID を割り当ててデバイスをサポートする場合に必要な変更は簡単です。新しいデバイスの場合は、とても簡単な作業でサポートできる可能性があります。新しいデバイスはテストして認定する必要があります。どちらの場合も、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 545 - サポートされていないメディア クラスです

説明: サポートされていないメディア クラスでデバイスにアクセスしようとした。デバイス初期化ファイル (TWtapdev.ini) にエラーがあり、デバイスに有効なメディア クラスを設定できません。ファイルが壊れている、またはファイル編集ミス可能性があります。ファイルを修正するか、元の CD の新しいファイルを使用してください。

エラー番号 546 - ベンダ固有

説明: デバイスからの検出データがベンダ固有の検出キーを返しました。正確な意味はデバイスの製造元に依存します。たとえば、Exabyte はこのキーを使用して配置エラーと、デバイスが位置を失ったことを報告します。問題が解決しない場合、デバイスの動作不良の可能性があります。具体的な情報については、テクニカル サポートかデバイスの製造元に連絡する必要があります。

エラー番号 547 - 書き込み保護されています

説明: 書き込み保護のメディアに書き込もうとしたか、デバイスが書き込めないフォーマットで書き込まれたメディアに追加しようとした。重要な情報が失われていないか判断してください。失われていなかった場合、書き込み保護をやめて、メディアを使用するか、メディアをフォーマットまたは上書きしてください。これでデバイスが書き込めるフォーマットを選択できます。

エラー番号 548 - クリーニング テープがインストールされています

説明: このエラーは、クリーニング サイクル中でクリーニング テープがインストールされているデバイスを使おうとした場合に返されます。クリーニング サイクルを完了して、クリーニング テープを取り除きます。それから通常のテープを挿入してもう 1 度実行してください。

エラー番号 549 - ブロック サイズが大きすぎます

説明: ブロック サイズが最大物理転送を超えています。バッファ以上の可能性もあります。TapeWare. Ini でこのデバイスのセクションのパラメータを追加、変更して対処できる可能性があります。自動検出を使用している場合は、自動検出が割り当てたデバイス名のセクションを、セクションのヘッダとして追加する必要があるかもしれません。

エラー番号 600 - ボリュームが見つかりません

説明: 指定されたボリュームが見つかりませんでした。ボリュームが有効でマウントされていることを確認してください。

エラー番号 601 - 無効なオブジェクト パス

説明: 指定されたパスが無効です。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 602 - ネーム スペースを変換できません

説明: オブジェクト パスを解析しようとして、パスで指定されたネーム スペースをボリューム上のターゲット ネーム スペースに変更できませんでした。すべてのネーム スペースがボリュームにロードされていない可能性があります。この問題を修正するには、ボリュームにネーム スペースを追加して操作 (通常は回復) を実行し、VREPAIR でネーム スペースを削除してください。

エラー番号 603 - コンポーネントがありません

説明: 予期したコンポーネントが見つかりませんでした。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 604 - 拡張属性を開けません

説明: OS/2 の拡張属性フォークを開けません。拡張属性は主に OS/2 で使用されますが、Win95 および Macintosh のネーム スペースでも特定の拡張属性が使用されます。

エラー番号 605 - 拡張属性を取得できません

説明: オブジェクトの OS/2 拡張属性を取得できません。

エラー番号 606 - 拡張属性のリストを作成できません

説明: オブジェクトの OS/2 拡張属性リストを作成して、使用可能な拡張属性を判断できません。

エラー番号 607 - 拡張属性を読み込めません

説明: リストから返された OS/2 拡張属性キーを読み込めません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 608 - MacInfo を取得できません

説明: Macintosh の Finder と ProDOS 情報を読み込めません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 609 - NfsInfo を取得できません

説明: 権利、グループ、所有者についての Unix NFS 情報を読み込めません。

エラー番号 610 - 無効なネーム スペースまたはロードされていません

説明: オブジェクト パスのコンポーネントを開こうとして、コンポーネントで指定されたネーム パスを参照解除できませんでした。すべてのネーム スペースがボリュームにロードされていない可能性があります。この問題を修正するには、ボリュームにネーム スペースを追加して操作 (通常は回復) を実行し、VREPAIR でネーム スペースを削除してください。

エラー番号 611 - DOS の名前を読み込めません

説明: 未使用

エラー番号 612 - volld/dirld をパスにマップできません

説明: ボリューム id とディレクトリ id を真の DOS 互換パスにマップできません。ディレクトリやオブジェクトが削除されているか、サポートするボリュームがマウント解除されていることが原因である可能性があります。

エラー番号 613 - volld を名前にマップできません

説明: 指定されたボリューム id ではボリューム名を取得できません。TapeWare の操作中にボリュームがマウント解除された可能性があります。

エラー番号 614 - ディレクトリ エントリを取得できません

説明: ボリューム id とディレクトリ id ペアに DOS ディレクトリ エントリを取得できません。ディレクトリやオブジェクトが削除されているか、サポートするボリュームがマウント解除されていることが原因である可能性があります。

エラー番号 615 - コンポーネントを開けないか、作成できません

説明: ファイルやディレクトリ オブジェクトを作成または開こうとしてエラーが発生しました。ボリュームがマウント解除されているか、オブジェクトの名前が無効である可能性があります。

エラー番号 616 - エントリが見つかりません

説明: TapeWare パスを解析しようとして、パスのエントリが見つかりませんでした。エントリが削除されたか、エントリに不正な文字 (<ALT>-255) が含まれています。またはボリュームが選択解除されているか、使用できません。

エラー番号 617 - フォーマットはターゲットと非互換です

説明: オブジェクトが保存されているフォーマットはターゲット システムと非互換です。このエラーは、NetWare 4.x で圧縮されたファイルを NetWare 3.x を実行しているファイル サーバで回復しようとした場合や、Windows NTFS ファイルを NetWare ファイルへ回復しようとした場合などに発生します。この操作が必要な場合は、ジョブの [バックアップ オプション] タブの [高度] ボタンを選択して、ネイティブ データ ストリーム フォーマットを選択解除してください。

エラー番号 618 - 圧縮情報を取得できません

説明: NetWare がファイルの圧縮サイズと圧縮解除サイズを取得できませんでした。これはバックアップ手順を完了するために必要です。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 619 - 無効なボリュームまたはボリュームがマウントされていません

説明: 指定されたボリュームは無効であるか、存在しないか、マウントされていません。

エラー番号 620 - ユーザ スペース制限を書き込めません

説明: ボリュームにユーザ スペース制限を書き込もうとしてエラーが発生しました。もう 1 度実行して、ボリューム名を確認してください。エラーが解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 621 - ディレクトリ スペース制限を書き込めません

説明: ボリュームにディレクトリ スペース制限を書き込もうとしてエラーが発生しました。もう 1 度実行して、ディレクトリ名を確認してください。エラーが解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 622 - トラスティを書き込めません

説明: ディレクトリまたはファイルにトラスティ情報を書き込もうとしてエラーが発生しました。もう 1 度実行して、ディレクトリ名を確認してください。エラーが解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 623 - エントリ情報を取得できません

説明: ファイルやディレクトリに関する属性、日付、時間、サイズなどの重要な情報を取得できません。エラーが解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 624 - エントリ情報を変更できません

説明: ファイルやディレクトリに関する属性、日付、時間、サイズなどの重要な情報を変更できません。エラーが解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 625 - MacInfo を配置できません

説明: ファイルやディレクトリに関する Finder Info、関連付けなどの Macintosh 情報を保存できません。エラーが解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 626 - NfsInfo を配置できません

説明: ファイルやディレクトリに関する UID/GID、Unix 属性などの NFS 固有情報を保存できません。エラーが解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 627 - 拡張属性を書き込めません

説明: ファイルやディレクトリに関する UID/GID、Unix 属性などの拡張属性情報を保存できません。エラーが解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 628 - オブジェクト情報が長すぎてオーバフローしました

説明: NDS オブジェクト情報が内部バッファをオーバフローしました。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 629 - NDS/Bindery オブジェクト id を取得できません

説明: オブジェクト id からオブジェクト情報を開こうとしてエラーが発生しました。エラーが解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 630 - ディレクトリを作成できません

説明: ターゲット ディレクトリを作成できません。ボリュームとディレクトリ名が有効であることを確認してください。ターゲット システムで十分な権利があることも確認してください。エラーが解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 631 - パスのコンポーネントはディレクトリではありません

説明: ディレクトリ パスを作成しようとして、パス内のコンポーネントは存在しているがディレクトリではないことが分かりました。違反しているエントリを別の名前に変更するか、ターゲット システムのディレクトリを削除してください。

エラー番号 632 - WinNT での回復で同期エラーが発生しました

説明: 回復のために Windows NT に渡されたデータはその操作では受け入れられませんでした。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 633 - ソース ファイルを開けません

説明: ソース ファイルを開こうとしてエラーが発生しました。通常は、ソース ファイルが存在しないか使用中であることが原因です。

エラー番号 634 - ファイル書き込みエラー

説明: ターゲット ディスクに書き込めません。ボリュームのスペース不足か、CD-Rom のようにボリュームが読み込み専用である可能性があります。

エラー番号 635 - ファイル読み込みエラー

説明: ターゲット ディスクから読み込めません。ディスクが壊れているかマウント解除されていることが可能性があります。

エラー番号 636 - 互換性のないバージョンです

説明: 回復中のストリームは、ターゲット システムと互換性がありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 637 - ターゲットを作成できません

説明: ターゲット ファイルを作成しようとしてエラーが発生しました。通常は、ターゲット ファイルが使用中であることが原因です。

エラー番号 638 - ターゲット ファイルが見つかりません

説明: ソース ファイルを開こうとしてエラーが発生しました。通常は、ソース ファイルが存在しないか使用中であることが原因です。

エラー番号 640 - プロセス特権を調整できません

説明: TapeWare 特権を調整してレジストリのバックアップ/回復権を取得しようとして、エラーが発生しました。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 641 - レジストリ キーを作成できません

説明: 保存操作のためにレジストリ キーを作成できません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 642 - レジストリ キーを保存できません

説明: バックアップ操作のためにレジストリ キーを保存できません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 643 - レジストリ キーをリストできません

説明: バックアップのためにターゲット キーをリストしようとしてエラーが発生しました。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 700 - 論理フォーマットを認識できません

説明: ターゲット マシンはテープに書き込まれた論理テープ フォーマットを認識できません。

エラー番号 800 - ロードがビジーです

説明: 通常このエラーは、オートローダでローダ デバイスがセルフ テストまたは内部初期化を実行している場合に発生します。通常はオートローダ デバイス ドライバの初期化中に処理されるため、このエラーは報告されません。数分後にローダ ドライバをもう 1 度初期化してみてください。エラーが解決しない場合、ローダ デバイスの動作不良の可能性あります。

エラー番号 810 - ロードはメディアを移動できません

説明: ロードにメディア移動コマンドが渡されましたが、正確な原因は分かりません。多くのエラー原因が考えられますが、大部分は、カートリッジの配置ミスか、ローダ要素が間違った状態にあるためです。正しく実行するには手動で操作します。エラーが解決しない場合、ローダ デバイスに動作不良が発生していて修理が必要かもしれません。

エラー番号 802 - ロードがカートリッジ障害を検出しました

説明: 電源を入れる前またはメディア移動コマンドの前にトランスポート機構にカートリッジが入っていました。これはメディア移動時の電源断など重大な障害の結果発生します。カートリッジを手動でスロットに配置して、もう 1 度操作してください。

エラー番号 803 - ロードがカートリッジ詰まりを検出しました

説明: テープ デバイス内でカートリッジが詰まりました。手動操作して、問題を解決してください。デバイスがメディアをイジェクトできない場合、修理する必要があるかもしれません。

エラー番号 804 - ロード コマンドが中止されました

説明: ロードでコマンドが中止されました。ロードに問題があるか、送信コマンドか送信順序に問題がある可能性があります。このエラーが定期的または頻繁に発生する場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 805 - ロード コマンドが終了しました

説明: TapeWare では i/o 終了メッセージは送信されないため、このエラーが表示されることはありません。表示された場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 806 - ロード コマンド待ち行列がいっぱいです

説明: TapeWare ではロード コマンドを待ち行列に入れることはしないため、このエラーが表示されることはありません。表示された場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 807 - 宛先要素がいっぱいです

説明: メディア移動コマンドが発行されましたが、宛先にはすでにメディアが含まれていました。手動で操作して問題が発生した場合は、TapeWare でロード メディア インベントリを再構築する必要があるかもしれません。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 808 - ロードはコマンドを実行できません

説明: ロード デバイスにサポートされていないコマンドを渡そうとしました。通常は内部で回避処理されます。このエラーが表示された場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 809 - ロードのドアが開いています

説明: ロード ドアが開いているときにモーション コマンドを発行しようとしてしました。ドアが閉じていることを確認して、もう 1 度実行してください。

エラー番号 810 - ロード ハードウェア エラー

説明: ロードでハードウェア障害が報告されました。いったん電源を切って再び入れるか、手動で操作すると問題が解決する可能性があります。エラーが解決しない場合、ロードの修理が必要かもしれません。

エラー番号 811 - 不正な SCSI 要求です

説明: ロードに発行されたコマンドには不正な要求が含まれています。通常このエラーは内部で処理されます。このエラーが表示された場合は、デバイス初期化ファイル (TWldrdev.ini) にエラーがある可能性があります。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 812 - 不正な検出キーです

説明: チェック状態後に、検出ロード内の不正な検出キーがデバイスから返されました。ロードが仕様に適合していないか、ロードのハードウェアまたはファームウェアに問題があります。

エラー番号 813 - 無効なデバイス コマンドです

説明: 無効なロード コマンドを実行しようとしてしました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 814 - 無効なモード選択パラメータです。

説明: 無効なモード選択コマンドが試行されました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 815 - 無効な SCSI ステータス バイトです

説明: コマンドに対して無効な SCSI ステータスがローダから返されました。ローダが仕様に適合していない、動作不良である、SCSI バスやコントローラに問題がある可能性があります。

エラー番号 816 - 無効な検出データ キーです

説明: ローダから返された検出データに未定義の検出キー値が含まれています。ローダが仕様に適合していない、動作不良である、SCSI バスやコントローラに問題がある可能性があります。

エラー番号 817 - ボリューム タグ スキャナがインストールされていません

説明: このエラーは内部でローダの初期化に使用され、報告されることはありません。このエラーが発生した場合、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 818 - デバイスがインストールされていません

説明: ローダにインストールされていないデバイスから、またはローダにインストールされていないデバイスへ移動しようとしてしました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 819 - ローダにマガジンがありません

説明: メディアを取得するマガジンまたはメディアを保存するマガジンがローダにありません。ローダを使用する前にメディアのマガジンをインストールする必要があります。

エラー番号 820 - 無効なステータス要求要素です

説明: 無効な要素のステータスが要求されました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 821 - ローダが SCSI コントロール モードではありません

説明: ローダが SCSI コントロール モード以外のモードなので、TapeWare で使用できません。ローダを SCSI コントロール モードにして、ローダ ドライバをもう 1 度初期化してください。

エラー番号 822 - デバイス タイプがオートローダではありません

説明: 自動検出を使用していない場合は、TapeWare.ini のローダ デバイス指定で正しい SCSI id や LUN が設定されていることを確認してください。自動検出を使用してこのエラーが発生した場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 823 - ローダの準備ができていません

説明: このエラーは通常、ローダ内部初期化のときに発生します。TapeWare のローダ ドライバ初期化によってこの状態が処理されます。少し待ってからローダ ドライバをもう 1 度初期化してみてください。エラーが解決しない場合、ローダの動作不良か、ローダがアクセス可能モードではない可能性があります。

エラー番号 824 - ローダが準備中です

説明: ローダの準備ができていませんが、準備完了中です。この処理に時間がかかりすぎる場合、TapeWare はローダ ドライバを初期化しようとしてタイムアウトする可能性があります。その場合、少し待ってからローダ ドライバをもう 1 度初期化してみてください。エラーが解決しない場合、ローダの動作不良の可能性があります。

エラー番号 825 - ロードは別のホストで予約されています

説明: 別のホストでこのロードが予約されています。別のホストが予約を解放するまで待つ、もう 1 度実行してください。または、予約を保持しているホストを検索してロードにアクセスできるようにしてください。特定の状況下では、予約したホストがロードを解放していない可能性があります。この場合、ロードをリセットする必要があるかもしれません。

エラー番号 826 - ロードがブート ROM モードです

説明: ロードが特殊なモードなので、TapeWare で使用できません。ロードのファームウェアに問題があり、ロードがロー レベル モードで実行されている可能性があります。

エラー番号 827 - 移行元要素が空です

説明: メディア移動コマンドが発行されましたが、移行元にはメディアが含まれていません。手動で操作して問題が発生した場合は、TapeWare でロード メディア インベントリを再構築する必要があるかもしれません。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 828 - ロード ステータスが変更されました

説明: これはロードのドアを閉めて電源を入れたりリセットした場合、またはメディアが変更された場合に発生します。これは正常な操作であり、普通はこの「エラー」は報告されません。このエラーが報告された場合は、もう 1 度操作を実行すると、この状態は自動的に解決します。ロード インベントリが TapeWare によって再展開されます。

エラー番号 829 - ロード問い合わせデータを認識しませんでした

説明: ロード ドライバをロードしようとしたのですが、ロード製造元とモデル情報に一致するロード初期化ファイル (TWldrdev.ini) のエントリがありませんでした。ロードはサポートできるかもしれませんが、最近 ID を変更できるロードが製造されています。OEM またはディストリビュータがデバイス ID を変更した可能性があります。違う ID を割り当ててデバイスをサポートする場合に必要な変更は簡単です。新しいロードの場合は、とても簡単な作業でサポートできる可能性があります。新しいロードはテストして認定する必要があります。どちらの場合も、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 830 - このロードではデバイスはサポートされていません

説明: ロードでサポートされていないデバイスにメディア移動コマンドを実行しようとした。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 831 - クリーニングにクリーニング テープ以外のテープが指定されました

説明: クリーニング サイクルを実行しようとしたのですが、カートリッジがクリーニング カートリッジではありませんでした。クリーニング カートリッジを持っていると指定されたロード記憶域に実際にクリーニング カートリッジが格納されているか確認してください。その後もう 1 度実行してください。

エラー番号 832 - ロードは再初期化中です

説明: 再初期化中のロードにアクセスしようとした。通常は、再初期化中に発行されたロード コマンドは、再初期化が正常終了するまで保持されます。その後もう 1 度実行されます。このエラーが表示された場合、予期できない問題が発生する可能性があります。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 833 - ロード モード検出データ不良です

説明: ドライバ初期化がロードでモード検出データ不良を検出しました。初期化は終了していません。ロードの動作不良か、SCSI バスまたはコントローラに問題がある可能性があります。

エラー番号 834 - すべての記憶域要素がいっぱいです

説明: 初期化中に余分のメディアが見つかり、すべての記憶域要素がいっぱいになりました。余分のメディアを手動で取り除いて、ローダ ドライバをもう 1 度初期化してください。

エラー番号 835 - ローダはデバイスを見つけられませんでした

説明: 初期化中に、ローダは関連付けるデバイスを見つけられませんでした。自動検出を使用している場合は、ローダ デバイスとローダが同じバスにある必要があります。デバイス ドライバがロード済み、初期化済みであることを確認してください。ローダとデバイスが同じバス上にない場合、TapeWare.Ini ファイルで指定してロードとデバイスの両方をロードする必要があります。

エラー番号 836 - ローダはすべてのデバイスをチェックできませんでした

説明: 初期化中に、ローダはすべてのデバイスをチェックできませんでした。すべてのデバイス ドライバがロード済み、初期化済みであることを確認して、ローダ ドライバをもう 1 度初期化してみてください。

エラー番号 837 - ローダ コマンドを完了できません

説明: ローダ ドライバを再初期化しようとして、別のコマンドが検出されました。このコマンドは完了しません。ローダ ドライバをアンロードしてみる必要があるかもしれません。コマンドが実行中の場合、リソースが開放されない、または実行例外やアクセス違反が発生する可能性があります。

エラー番号 839 - 無効な移動元要素が指定されました

説明: 無効な移動元要素を指定してメディア移動コマンドを実行しようとしてしました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 840 - 無効な移動先要素が指定されました

説明: 無効な移動先要素を指定してメディア移動コマンドを実行しようとしてしました。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 841 - ローダは要求された移動を行えません

説明: ローダは要求されたメディア移動コマンドを実行できません。このエラーが発生することはありません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 842 - ボリューム タグがありません

説明: このエラーは通常の操作でも発生することがありますが、内部で処理され、報告されません。この「エラー」が発生した場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 843 - ローダのサボ制御が解除されました

説明: ローダが停止したか、オペレータ コントロール パネルからサボ制御が解除されました。TapeWare でローダを使用するには、ローダのサボをもう一度有効にしてください。

エラー番号 844 - ローダはオフラインです

説明: オペレータ コントロール パネルからローダがオフラインにされました。TapeWare でローダを使用するには、ローダをオンラインに戻してください。

エラー番号 845 - ボリューム タグがありません

説明: ローダを完全に準備状態にするには初期化コマンドが必要です。通常は自動的に実行されます。このエラーが発生してローダ ドライバが初期化できなかった場合は、TapeWare を停止して再起動してみてください。この問題は再初期化すると解決します。

エラー番号 846 - ロードは手動操作が必要です

説明: ロードの準備ができていないため、手動で準備を完了する必要があります。操作設定が変更されたか、ロードに別の問題があります。

エラー番号 842 - ボリューム タグがありません

説明: このエラーは通常の操作でも発生することがありますが、内部で処理され、報告されません。この「エラー」が発生した場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 900 - BTrieve パージョンを取得できません

説明: BTrieve からバージョン情報を取得できません。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 901 - セット ファイル情報を取得できません

説明: セット ファイル属性、および変更日付と時間を取得できませんでした。セット ファイル TW\$BTRV.DAT が存在しない可能性があります。

エラー番号 902 - 無効な BTrieve パージョンです。バージョン 6.00 以上が必要です

説明: 使用中の BTrieve のバージョンが正しいバージョンではありません。バージョン 6.00 以上が必要です。ただし、6.00 のいくつかの版には問題が報告されているため、できれば 6.10 以上にアップグレードすることをお勧めします。

エラー番号 903 - セット コントロールは現在ビジーです

説明: セット コントロール ファイル TW\$BTRV.DAT は現在使用中です。更新が必要ですが、別のプロセスで使用中のため更新できません。もう 1 度実行してください。

エラー番号 904 - BTrieve コンテキスト ハンドル不足

説明: 割り当てられた BTrieve ハンドルが多すぎます。コンテキスト ハンドルは十分な数が用意されているので、通常はプログラミングの問題です。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 905 - 無効な BTrieve コンテキスト ハンドルです

説明: BTrieve コンテキスト マップのハンドルが無効です。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 906 - BTrieve ファイルが見つかりません

説明: セットで指定されたファイルが見つかりませんでした。

エラー番号 907 - エントリ情報を設定できません

説明: BTrieve ファイルに属性と日付/時間を設定できませんでした。

エラー番号 908 - 無効な create パスです

説明: 回復するパスが無効です。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 909 - BTrieve セットをシャットダウンできません

説明: バックアップまたは検証セットをシャットダウンできません。通常は、データ破壊エラーがあるかセットで定義されたファイルが見つからないために発生します。BTrieve エラーを表示するには、サーバ コンソールで <Control-F9> を押します。

エラー番号 910 - BTrieve セットを起動できません

説明: バックアップまたは検証後にセットを起動できません。通常はデータ破壊エラーが原因です。BTrieve エラーを表示するには、サーバ コンソールで <Control-F9> を押します。

エラー番号 911 - BTrieve セット データが大きすぎます

説明: セット データが大きすぎます。セットで利用できるスペースの合計は、ファイルネームの合計にパス名と 3 を足した数です。また、合計サイズは 32K を超えることはできません。セットを複数のセットに分割して、もう 1 度実行してください。

エラー番号 912 - そのような BTrieve セットはありません

説明: テープで指定されたセットは TW\$BTRV.DAT セット コントローラートール ファイルのセットには存在しません。

エラー番号 913 - そのような BTrieve ファイルはありません

説明: テープで指定されたファイルは TW\$BTRV.DAT セット コントローラートール ファイルのセットには存在しません。

エラー番号 914 - 予期しない BTrieve ファイルの最後です

説明: TW\$BTRV.DAT セット コントロール ファイルで予期しないファイルの終わりが発生しました。構文をチェックして、正しいファイルであることを確認してください。

エラー番号 915 - 無効な BTrieve パスが指定されました

説明: 指定されたパスは無効です。通常は、パス エントリにサーバ名を追加しようとしたために発生します。これは許可されません。パスのフォーマットは VOLUME:\PATH です。マシン名を指定することはできません。すべての BTrieve ファイルは BTrieve コネクタで管理されるマシンにローカルです。

エラー番号 916 - BTrieve ファイルは使用中です

説明: BTrieve セットのファイルが現在使用中なので、バックアップのために開くことができません。BTrieve セットはこのファイルをシャットダウンしたので、別のプロセスでこのファイルが使用されている可能性があります。

エラー番号 917 - BTrieve ファイル読み込みエラー

説明: BTrieve ファイルを読み込もうとしてエラーが発生しました。ディスク上にエラーがある可能性があります。

エラー番号 918 - BTrieve ファイル シーク エラー

説明: テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 919 - BTrieve ファイル作成エラー

説明: BTrieve データ ファイルを作成しようとしてエラーが発生しました。無効なディスクが指定されたか、ファイルが別のプロセスで使用中であることが原因です。TW\$BTRV.DAT ファイルのドライブ、パス、ファイル名をチェックして、もう 1 度実行してください。

エラー番号 920 - BTrieve ファイル書き込みエラー

説明: BTrieve データ ファイルに書き込もうとしてエラーが発生しました。ディスクがいっぱいであることが原因です。

エラー番号 921 - 無効な BTrieve シグネチャです

説明: データ ストリームを開始するときに BTrieve セットのバンドル シグネチャが見つかりませんでした。データベースにテープをインポートしてみてください。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 925 - ログインを取得できません

説明: db-Library からログイン レコードを割り当てられません。メモリ不足かもしれません。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 926 - 接続を開始できません

説明: SQL Server との接続を開始できません。SQL サービスが開始されていることを確認してください。またログイン名とパスワードが正しいかどうか確認してください。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 927 - SQL コマンドをセットアップできません

説明: db-Library で SQL コマンドをセットアップできません。メモリ不足かもしれません。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 928 - SQL コマンドを実行できません

説明: SQL Server でコマンドが拒否されました。ログイン ユーザにデータベース サーバでの権利があることを確認してください。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 929 - 結果を取得できません

説明: db-Library からの結果を解析しようとしてエラーが発生しました。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 930 - SQL RPC 障害です

説明: SQL Server からの結果を予期していましたが見つかりませんでした。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 931 - 不明な SQL 結果です

説明: db-Library からの結果を開こうとして原因不明のエラーが発生しました。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 932 - SQL パイプを作成できません

説明: バックアップまたは回復を行おうとしたときに、TapeWare が転送パイプを開けませんでした。サーバで DUMP または LOAD コマンドが拒否された場合、これは正常です。問題が解決しない場合は、テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 933 - SQL 転送パイプ読み込みエラー

説明: 転送パイプから読み込もうとして、予期しないエラーが発生しました。TWTrace.Txt ファイルを調査して、問題をテクニカル サポートに報告してください。

エラー番号 934 - SQL 転送パイプ書き込みエラー

説明: 転送パイプに書き込もうとして、予期しないエラーが発生しました。TWTrace.Txt ファイルを調査して、問題をテクニカル サポートに報告してください。

エラー番号 935 - SQL 転送パイプクローズ エラー

説明: 回復後にパイプを閉じようとしたときに、SQL Server から返された返された結果で回復作業に問題があったことが判明しました。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 936 - SQL Sync 1 エラー

説明: 受信データ ストリームを解析して回復しようとして、ストリーム ヘッダの検索で同期エラーが発生しました。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 937 - SQL Sync 2 エラー

説明: 受信データ ストリームを解析して回復しようとして、ストリーム ヘッダの検索で同期エラーが発生しました。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 938 - SQL バッファが小さすぎます

説明: 受信データを受け入れて回復しようとして、ヘッダ以降のデータが SQL 転送バッファに割り当てられたサイズを超えることがヘッダによって発見されました。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 939 - データベースが見つかりません

説明: SQL Server にトランザクション セットを回復しようとしたときに、SQL Server によってデータベースが存在しないことが判明しました。ターゲットを名前変更するかフル バックアップに戻って、選択ポイントにすべてのトランザクションを回復してください。

エラー番号 950 - Exchange パイプを開けませんでした

説明: Exchange Server にアクセスしようとして、TapeWare は名前の付いたパイプを作成できませんでした。

エラー番号 951 - 予期しない Exchange パイプ読み込みエラー

説明: Exchange パイプから読み込み中に予期しないエラーが発生しました。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 952 - 予期しない Exchange パイプ書き込みエラー

説明: Exchange パイプへの書き込み中に予期しないエラーが発生しました。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 953 - 一般 Exchange インタフェース エラー

説明: 一般 Exchange インタフェース エラーが発生しました。テクニカル サポートに問題を報告してください。

エラー番号 1000 - SMTP ソケットへ送信できません

説明: ターゲット SMTP ソケットへ送信中に通信障害が発生しました。SMTP 設定をチェックしてください。

エラー番号 1001 - SMTP ソケットから受信できません

説明: ターゲット SMTP ソケットから受信中に通信障害が発生しました。SMTP 設定をチェックしてください。

エラー番号 1002 - SMTP ホストに接続できません

説明: SMTP ホストに接続できません。SMTP 設定をチェックしてください。

エラー番号 1003 - SMTP ホストへのソケットを開けません

説明: ターゲット SMTP ホストへのソケットを開けません。SMTP 設定をチェックしてください。

エラー番号 1004 - 予期しない SMTP エラー

説明: 予期しない SMTP エラーです。テクニカル サポートに連絡してください。

エラー番号 1050 - チャネル スロットが足りません

説明: チャネル スロットが足りません

エラー番号 1051 - チャネル サーバ がダウンしています

説明: メイン チャネル アプリケーション サーバ は現在ダウンしています。ローカル マシンのチャネル サーバ を再起動してもう一度実行してください。

エラー番号 1052 - チャネル マップ ファイルを開けません

説明: チャネル マップ ファイルを開こうとしてエラーが発生しました。同じ名前のファイルが別のアプリケーションで使用されています。後でもう一度実行してみてください。

エラー番号 1053 - チャネル マップ ファイルのビューをマップ できません

説明: チャネル マップ ファイルのビューをマップ しようとしてエラーが発生しました。後でもう一度実行してみてください。

エラー番号 1054 - チャネル Mutex を作成できません

説明: チャネル マップ の Mutex を作成中にエラーが発生しました。

エラー番号 1055 - チャネル サービス イベントを作成できません

説明: チャネル マップ のサービス イベントを作成中にエラーが発生しました。

エラー番号 1056 - チャネル完了イベントを作成できません

説明: チャネル マップ の完了イベントを作成中にエラーが発生しました。

エラー番号 1057 - サービス コントロール マネージャを開きます

説明: サービス コントロール マネージャを開けません。このサービスの操作にはこれが必要です。Windows NT 下で実行していないか、サービスを保持する十分な権利がない可能性があります。

エラー番号 1058 - サービスを作成できません

説明: サービスを作成できません。サービスがすでに存在しているか、サービスデータベースが別のプロセスでロックされている可能性があります。

エラー番号 1059 - サービスを開けません

説明: サービスを開けません。サービスが存在しないか、サービスデータベースが別のプロセスでロックされている可能性があります。

エラー番号 1060 - サービスを削除できません

説明: サービスを削除できません。サービスが存在しないか、サービスデータベースが別のプロセスでロックされている可能性があります。

エラー番号 1061 - サービスを開始できません

説明: サービスを開始できません。サービスが存在しないか、サービスデータベースが別のプロセスでロックされている可能性があります。

エラー番号 1062 - レジストリを開けません

説明: レジストリを開いてサービス キーを更新できません。レジストリを更新する権利を持っていない可能性があります。

エラー番号 1063 - レジストリ値を設定できません

説明: サービス キーのレジストリ値を設定できません。レジストリを更新する権利を持っていない可能性があります。

エラー番号 1064 - レジストリ値を削除できません

説明: サービス キーのレジストリ値を削除できません。レジストリを更新する権利を持っていないか、サービスがインストールされていない可能性があります。

エラー番号 1065 - レジストリ値を問い合わせできません

説明: サービス キーのレジストリ値を問い合わせできません。レジストリを更新する権利を持っていないか、サービスがインストールされていない可能性があります。

エラー番号 1066 - サービスプロセスを作成できません

説明: サービス プロセスを作成できません。 サービス処理プログラムがない可能性があります。 TWWINSVC.EXE プログラムと TWWINSCM.EXE プログラムが同じディレクトリにあることを確認してください。

エラー番号 1067 - システム Mutex を開けません

説明: システム Mutex を開けません。システム Mutex は、ロード済みアプリケーションの複数のインスタンス間で行われるアクセスを管理するのに使用されます。 十分な権利がない可能性があります。

エラー番号 1068 - サービス終了 Mutex を開けません

説明: サービス終了 Mutex を開けません。サービス終了 Mutex は、ロード済みアプリケーションの複数のインスタンス間で行われるアクセスを管理するのに使用されます。 十分な権利がない可能性があります。

エラー番号 1069 - スタンドアロンアプリケーションが実行中です

説明: スタンドアロン バックアップ アプリケーション (管理者) がすでに実行されているか、サービスがすでに実行されています。実行される最初のプログラムはサービス プログラムでなければなりません。

エラー番号 1070 - サービスは実行されていません

説明: このサービスは現在実行されていません。

エラー番号 1071 - サービスは実行中です

説明: このサービスはすでに実行されていてアクティブです。

エラー番号 1072 - サービスステータスを設定できません

説明: サービス コントロール マネージャにサービスステータスを送信しようとしてエラーが発生しました。

エラー番号 1073 - モジュール名を取得できません

説明: サービス コントロール プログラムの名前と絶対パスを取得しようとしてエラーが発生しました。

エラー番号 1074 - サービスコントロールマネージャをアタッチできません

説明: ローカル サービス コントロール マネージャに接続しようとしてエラーが発生しました。間違ったプログラムが実行された可能性があります。 このサービスの実行には TWWINSVC.EXE プログラムが使用され、TWWINSCM.EXE はサービスの管理に使用されます。

エラー番号 1075 - データベースは修復中です

説明: 自動データベース修復によるか、または環境設定ファイルから手動で起動してデータベースを修復中です。

エラー番号 1076 - データベースの修復が完了しました

説明: データベースの修復作業が完了しました。データベースに関するあらゆる操作を実行できます。

エラー番号 1077 - サービスステータスを問い合わせできません

説明: サービス コントロールマネージャからサービスのステータスを問い合わせようとしてエラーが発生しました。

エラー番号 1100 - キーがありません

説明: 何もキーボードから入力されませんでした。

エラー番号 1101 - 項目が見つかりません

説明: リストの項目が見つかりませんでした。

エラー番号 1102 - フィールドが見つかりません

説明: このフォームには指定されたフィールドは見つかりませんでした。

エラー番号 1103 - フィールドが多すぎます

説明: フォームに定義されたフィールドが多すぎます。

エラー番号 1104 - オプションが多すぎます

説明: メニューに定義されたオプションが多すぎます。

エラー番号 1105 - フォーム処理からの戻り値

説明: このエラーコードは内部でフォーム マネージャによって使用されます。

エラー番号 1106 - 不正なビデオモード

説明: 検出されたビデオモードは現在サポートされていません。MODE CO80 または MODE MONO と入力してみてください。

エラー番号 1107 - リソースタグを作成できません

説明: スクリーンのリソースタグを作成しようとしてエラーが発生しました。

エラー番号 1108 - ディレクトリアクセススクリーンを作成できません

説明: ディレクトリアクセススクリーンを作成しようとしてエラーが発生しました。

エラー番号 1109 - スクリーンを作成できません

説明: 互換スクリーンを作成しようとしてエラーが発生しました。

エラー番号 1110 - ウィンドウがありません

説明: ウィンドウが必要なフォーム操作やメニュー操作を行おうとしたときに、ウィンドウが作成されていませんでした。

エラー番号 1154 - プロトコルをロードできません

説明: プロトコルドライバをロードしようとしたときに、致命的なエラー %ld が発生しました。

エラー番号 1155 - オプションパッケージがインストールされていません

説明: オプションパッケージがインストールされていない場合は、パッケージを選択できません。

エラー番号 1156 - TapeWare はこのディレクトリにはインストールされていません

説明: 選択したディレクトリにはインストール済みの TapeWare がありません。

エラー番号 1157 - データベースディレクトリを作成できません

説明: ストレージ マネジメントファイルの保存ディレクトリを作成しようとしてエラーが発生しました。 主要なインストールディレクトリが有効で、認証権限が作成済みであることを確認してください。

エラー番号 1158 - ディレクトリを作成できません

説明: インストールディレクトリ %s を作成しようとしてエラーが発生しました。入力したディレクトリが有効で、認証権限が作成済みであることを確認してください。

エラー番号 1159 - ディレクトリを削除できません

説明: ディレクトリ %s を削除しようとしてエラーが発生しました。このディレクトリは別のプロセスで使用されている可能性があります。

エラー番号 1160 - インストールプロファイルを開けません

説明: インストールマネージャはインストールコントロールファイル %s を開けませんでした。

エラー番号 1161 - TapeWare.Ini を開けません

説明: インストールマネージャは TapeWare.Ini を開けませんでした。 inifile\$ この操作はエラーコード %ld で失敗しました。

エラー番号 1162 - パッケージコントロールを開けません

説明: インストールマネージャはインストールコントロールファイル %s を開けませんでした。

エラー番号 1163 - 互換パッケージが見つかりません

説明: パッケージのインストール時に、オペレーティングシステムと互換性のあるパッケージが見つかりませんでした。

エラー番号 1164 - 間違ったライセンスキーが入力されました

説明: 間違ったライセンスキーが入力されました。インストールする製品やオプションのライセンスキーが正しいライセンスキーであることを確認してください。

エラー番号 1165 - 重複するストレージサーバ

説明: 入力された名前のストレージサーバはすでに存在します。別の固有な名前を入力してください。

エラー番号 1166 - ネットワークを有効にしてください

説明: 入力されたライセンスキーではゾーンの作成はサポートされていません。ネットワークプロトコルがロードまたは選択されていません。インストールを続ける前に、ネットワークプロトコルをロードして選択するか、別のライセンスキーを使用してください。

エラー番号 1167 - サポートされていない OS です

説明: 入力されたライセンスキーではこのオペレーティングシステムはサポートされていません。別のライセンスキーを使用してください。

エラー番号 1168 - 不正なライセンスキータイプです

説明: これはインストール中のパッケージに有効なライセンスタイプではありません

エラー番号 1169 - 無効なライセンスキーです

説明: 入力されたライセンスキーは無効です。CD ケースの裏または CD 郵送包の中を見て適切なライセンスキーを確認してください B

エラー番号 1170 - ライセンスパッケージがインストールされていません

説明: ライセンスキーの更新時に、インストールされているライセンスパッケージが見つかりませんでした。

エラー番号 1171 - CD からインストールしてください

説明: TapeWare のインストールは CD-Rom またはローカルハードディスク上のコピーから行う必要があります。インストール済みの TapeWare からインストールを実行しようとしています。

エラー番号 1172 - インストールされたバージョンが古すぎます

説明: このパッケージが正しく動作するためには、システムにインストールされたバージョンの TapeWare より新しいバージョンが必要です。このパッケージには %s が必要ですが、%s しかインストールされていません。正しいバージョンと必要なサービスパックがすべてインストールしてあることを確認してください。

エラー番号 1173 - ソースファイル読み込みエラー

説明: ソースファイルの読み込み中にエラー (%ld) が発生しました。インストール媒体が不良である可能性があります。

エラー番号 1174 - ターゲットファイル書き込みエラー

説明: ターゲット ファイルへの書き込み中にエラー (%ld) が発生しました。ディスクがいっぱいである可能性があります。

エラー番号 1175 - ソースファイルを開けません

説明: 次のソース ファイルを開こうとしてエラー (%ld) が発生しました。 %s インストール媒体をチェックして、もう一度実行してください。

エラー番号 1176 - ターゲットファイルを作成できません。

説明: 次のターゲット ファイルを作成中にエラー (%ld) が発生しました。 %s ターゲットディレクトリをチェックして、もう一度実行してください。

エラー番号 1177 - COM インタフェースを取得できません

説明: COM オブジェクトへのインタフェース ポインタを取得できません。これはシェルとの対話に必要です。

エラー番号 1178 - COM を初期化できません

説明: COM インタフェースを初期化してシェルと通信できません。

エラー番号 1179 - プログラムマネージャに接続できません

説明: プログラム マネージャへの接続で予期しないエラーが発生しました。プログラムアイコンとグループは追加されません。

エラー番号 1180 - DDE スtring を作成できません

説明: プログラム マネージャの DDE 接続に送信する DDE String を作成できません。

エラー番号 1181 - シェル特別フォルダを取得できません

説明: 特別なシェル デスクトップ フォルダを取得できません。エクスプローラが壊れている可能性があります。マシンを再起動してセッアップをやり直してください。

エラー番号 1182 - シェル特別フォルダを取得できません

説明: 特別なシェル デスクトップ フォルダを取得できません。エクスプローラが壊れている可能性があります。マシンを再起動してセッアップをやり直してください。

エラー番号 1183 - DDE トランザクションが失敗しました

説明: 次の DDE トランザクションが失敗しました。 %s "プログラムグループ" やプログラムアイテムは追加や削除できません。

エラー番号 1184 - レジストリキーが無効です

説明: レジストリ キー %s は有効なルート キーではありません。インストールコントロール ファイルをチェックしてください。

エラー番号 1185 - レジストリキーを開けません

説明: レジストリ キー %s\\%s を開こうとしてエラーが発生しました。

エラー番号 1186 - レジストリキーを作成できません

説明: レジストリ キー %s\\%s\\%s を開こうとしてエラーが発生しました。

エラー番号 1187 - インストールまたは削除できません

説明: TapeWare は別のユーザによってシステムにインストールされている可能性があります。ただしこのプログラムをインストール、更新、削除するには十分な特権がありません。システム管理者に問い合わせるか、管理者としてログインしてセッアップに戻ってください。

エラー番号 1188 - インストールに失敗しました

説明: 製品やオプションのインストールに失敗しました。もう一度実行してみてください。エラーが解決しない場合は、テクニカルサポートに連絡してください。

エラー番号 1189 - 実行できません

説明: 次のコマンドを実行できません。%s コマンドが有効で、プログラムファイルが存在していることを確認してください。

エラー番号 1200 - 無効なライセンスドキュメントです

説明: TapeWare.Ini のライセンスドキュメントが間違っています。テクニカルサポートに連絡して、ご使用のソフトウェアの正しいライセンスドキュメントを入手してください。

エラー番号 1201 - 無効なデータベースサーバです

説明: このマシンタイプには TapeWare データベースサーバのライセンスがありません。TapeWare のライセンスをチェックして、データベースサーバに使用できるオペレーティングシステムのタイプを判断してください。

エラー番号 1202 - 無効なデバイスサーバです

説明: このマシンタイプには TapeWare デバイスサーバのライセンスがありません。TapeWare のライセンスをチェックして、デバイスに使用できるオペレーティングシステムのタイプを判断してください。

エラー番号 1203 - 無効なデータストリームサーバです

説明: このマシンタイプには TapeWare データサーバのライセンスがありません。したがってこのマシンタイプへのバックアップや復元はできません。TapeWare のライセンスをチェックして、データストリームに使用できるオペレーティングシステムのタイプを判断してください。

エラー番号 1204 - サイトライセンス数を超過しました

説明: サイトライセンス契約で購入したライセンス数を超過しました。ベンダーに連絡して追加のサイトライセンス認証キーを取得してください。

エラー番号 1205 - クライアントタイプがサポートされていません

説明: ご使用のライセンスではこのクライアントはサポートされていません。ベンダーに連絡してアップグレードしてください。

エラー番号 1206 - 最大サーバ数を超過しました

説明: データベースサーバにアタッチできるサーバの最大数を超過しました。ベンダーに連絡してアップグレードしてください。

エラー番号 1207 - 最大クライアント数を超過しました

説明: データベースサーバにアタッチできるクライアントの最大数を超過しました。ベンダーに連絡してアップグレードしてください。

エラー番号 1208 - 最大サーバユーザレベルを超過しました

説明: サーバのユーザレベルがご使用の TapeWare ライセンスを超過しました。ベンダーに連絡してアップグレードしてください。

エラー番号 1209 - ネットワークサポートがありません

説明: ご使用のライセンスにはネットワークサポートは含まれません。ベンダーに連絡してアップグレードしてください。

エラー番号 1210 - ロータリッドがありません

説明: ご使用のライセンスにはオートロータリッドは含まれません。ベンダーに連絡してアップグレードしてください。

エラー番号 1211 - 高度なオートロータリッドがありません

説明: ご使用のライセンスには高度なオートロータリッドは含まれません。このオートロータリッドには高度なオートロータリッドパッケージが必要です。ベンダーに連絡してアップグレードしてください。

エラー番号 1212 - ライセンスが重複しています

説明: 重複ライセンスドキュメントを持つマシンが見つかりました。ベンダーに連絡して TapeWare を追加購入してください。

エラー番号 1213 - ライセンスの有効期限が切れました

説明: 評価ライセンスの有効期限が切れました。作業を続けるには、ベンダーに連絡して新しいライセンスを購入してください。

エラー番号 1300 - テープアラート - 警告 - 読み取り

説明: テープのデータを読み取る際に問題がありました。データは失われていませんが、テープのパフォーマンスが悪くなっています。

エラー番号 1301 - テープアラート - 警告 - 書き込み

説明: テープのデータを書き込む際に問題がありました。データは失われていませんが、テープの容量が少なくなっています。

エラー番号 1302 - テープアラート - 警告 - ハードエラー

説明: データの読み取りまたは書き込み中にドライブが修正できないエラーが発生したため、操作が中断されました。

エラー番号 1303 - テープアラート - 重要 - メディア

説明: データが危険です。

1. このテープから必要なデータをコピーしてください。
2. このテープを再び使用しないでください。
3. 別のテープを使用して操作を再開してください。

エラー番号 1304 - テープアラート - 重要 - 読み取り失敗

説明: テープが損傷しているか、ドライブに障害があります。テープドライブのメーカーのヘルプラインを呼び出します。

エラー番号 1305 - テープアラート - 重要 - 書き込み失敗

説明: このテープは障害のあるバッチから取り出されているか、テープドライブに障害があります。

1. ドライブをテストするときに正常なテストを使用してください。
2. 引き続き問題が解決しない場合は、テープドライブのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。

エラー番号 1306 - テープアラート - 警告 - メディアの寿命

説明: テープカートリッジの計算された有効寿命に達しました。

1. 必要なデータを別のテープにコピーしてください。
2. 古いテープを捨ててください。

エラー番号 1307 - テープアラート — 警告 — データグレード メディアではありません

説明: テープ カートリッジがデータ グレードではありません。このテープにデータをバックアップするのは危険です。カートリッジをデータ グレード テープと交換してください。

エラー番号 1308 - テープアラート — 重要 — 書き込み禁止

説明: 書き込み禁止のカートリッジに書き込もうとしました。書き込み禁止を解除するか、別のテープを使用してください。

エラー番号 1309 - テープアラート — 情報 — 取り出し不能

説明: テープ ドライブが使用中のため、カートリッジをイジェクトできません。カートリッジをイジェクトするには、操作が完了するのをお待ちください。

エラー番号 1310 - テープアラート — 情報 — メディアのクリーニング

説明: ドライブのテープはクリーニング カートリッジです。バックアップするか回復したい場合は、データ グレードのテープを挿入してください。

エラー番号 1311 - テープアラート — 情報 — サポートされていないフォーマット

説明: このドライブでサポートされていないタイプのカートリッジをロードしようとしています。

エラー番号 1312 - テープアラート — 重要 — 回復可能なひっかかったテープ

説明: ドライブのテープがひっかかっているため、操作が失敗しました。

1. 古いテープを捨ててください。
2. 別のテープを使用して操作を再開してください。

エラー番号 1313 - テープアラート — 重要 — 回復不能なひっかかったテープ

説明: ドライブのテープがひっかかっているため、操作が失敗しました。

1. テープ カートリッジを取り出そうとしないでください。
2. テープ ドライブのメーカーのヘルプラインを呼び出します。

エラー番号 1314 - テープアラート — 警告 — カートリッジ障害のメモリ チップ

説明: カートリッジのメモリが故障しました。パフォーマンスが低下しています。今後、バックアップ操作のためにカートリッジを使用しないでください。

エラー番号 1315 - テープアラート — 重要 — 強制イジェクト

説明: テープがアクティブに書き込み、または読み込みを行っている間にテープ カートリッジがマニュアルでイジェクトされたため、操作が失敗しました。

エラー番号 1316 - テープアラート — 警告 — 読み取り専用フォーマット

説明: このドライブに読み取り専用タイプのカートリッジをロードしました。このカートリッジは書き込み禁止として表示されます。

エラー番号 1317 - テープアラート — 警告 — テープ ディレクトリの破損

説明: カートリッジのディレクトリが破損しています。ファイル検索パフォーマンスが低下します。

エラー番号 1318 - テープアラート — 情報 — メディア寿命に近づいています

説明: テープ カートリッジの計算された有効寿命に近づきました。以下のことを行うことをお勧めします。

1. 次のバックアップには別のテープ カートリッジを使用する。
2. のテープ カートリッジを安全な場所に保管し、
3. 必要に応じてデータを回復できるようにする。

エラー番号 1319 - テープアラート - 重要 - すぐにクリーニング

説明: テープドライブのクリーニングが必要です。

- 1.オペレーションが停止した場合、テープをイジェクトし、ドライブをクリーニングしてください。
- 2.オペレーションが停止していない場合、完了するのを待ち、ドライブをクリーニングしてください。デバイス特有のクリーニング方法については、
- 3.テープドライブ ユーザーマニュアルをチェックしてください。

エラー番号 1320 - テープアラート - 警告 - 定期的なクリーニング

説明: テープドライブの定期的なクリーニングを行ってください。

1. 現在の操作が完了するのをお待ちください。
2. その後でクリーニング カートリッジを使用してください。デバイス特有のクリーニング方法については、テープドライブ ユーザーマニュアルをチェックしてください。

エラー番号 1321 - テープアラート - 重要 - クリーニングメディアが使い終わりました

説明: テープドライブで使用した最後のクリーニング カートリッジを使い終わりました。

1. 使い終わったクリーニング カートリッジを破棄してください。
2. 現在の操作が完了するのをお待ちください。
3. その後で新しいクリーニング カートリッジを使用してください。

エラー番号 1322 - テープアラート - 重要 - クリーニングメディアが無効です

説明: テープドライブで使用した最後のクリーニング カートリッジが無効なタイプです。

1. このドライブにこのクリーニング カートリッジを使用しないでください。
2. 現在の操作が完了するのをお待ちください。
3. その後で有効なクリーニング カートリッジを使用してください。

エラー番号 1323 - テープアラート - 警告 - リテンション要求

説明: テープドライブにリテンション操作が要求されました

エラー番号 1324 - テープアラート - 警告 - デュアルポートインターフェースエラー

説明: テープドライブの冗長インターフェースポートが故障しました。

エラー番号 1325 - テープアラート - 警告 - 冷却ファンの故障

説明: テープドライブ冷却ファンが故障しました

エラー番号 1326 - テープアラート - 警告 - 電源

説明: 冗長電源はテープドライブ筐体の中で故障しました。故障した電源の交換方法については、筐体のユーザーマニュアルをチェックしてください。

エラー番号 1327 - テープアラート - 警告 - 消費電力

説明: テープドライブの消費電力が指定範囲外です。

エラー番号 1328 - テープアラート - 警告 - ドライブ保守

説明: テープドライブの予防メンテナンスが必要です。特定の予防メンテナンス タスクのテープドライブ ユーザーマニュアルをチェックするか、テープドライブのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。

エラー番号 1329 - テープアラート - 重要 - ハードウェア A

説明: テープドライブにハードウェアの故障があります。

1. テープまたはマガジンをイジェクトしてください。
2. ドライブをリセットします。
3. 操作を再起動します。

エラー番号 1330 - テープアラート - 重要 - ハードウェア B

説明: テープドライブにハードウェアの故障があります。

1. テープドライブを外にしてから、再び内にします。
2. 操作を再起動します。
3. 引き続き問題が解決しない場合は、テープドライブのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。
4. デバイス電源を外、外に切り替えるためのデバイス特有の方法について、テープドライブのユーザーマニュアルをチェックしてください。

エラー番号 1331 - テープアラート - 警告 - インターフェース

説明: テープドライブにホストインターフェースの問題があります。

1. ケーブルとケーブル接続をチェックしてください。
2. 操作を再起動します。

エラー番号 1332 - テープアラート - 重要 - メディアのバリエーション

説明: 操作が失敗しました。

1. テープまたはマガジンをバリエーションしてください。
2. テープまたはマガジンをもう一度挿入してください。
3. 操作を再起動します。

エラー番号 1333 - テープアラート - 警告 - ダウンロード失敗

説明: このテープドライブに間違ったファームウェアを使用しようとしたため、ファームウェアのダウンロードが失敗しました。正しいファームウェアを取得し、もう一度行ってください。

エラー番号 1334 - テープアラート - 警告 - ドライブの湿度

説明: テープドライブ内の環境条件で、湿度の指定を超えました。

エラー番号 1335 - テープアラート - 警告 - ドライブ温度

説明: テープドライブ内の環境条件で、温度の指定を超えました。

エラー番号 1336 - テープアラート - 警告 - ドライブ電圧

説明: テープドライブへの電圧供給が指定を超えています。

エラー番号 1337 - テープアラート - 重要 - 予測された故障

説明: テープドライブのハードウェア上の故障が予測されています。テープドライブのメーカーのヘルプラインを呼び出します。

エラー番号 1338 - テープアラート - 警告 - 必要な診断

説明: テープドライブにハードウェアの故障がある可能性があります。問題を検証し、診断するために、拡張診断を実行してください。拡張診断テストを実行し、診断データと呼び出すために、デバイス特有の指示についてテープドライブユーザーマニュアルをチェックしてください。

エラー番号 1339 - テープアラート - 重要 - ロダーハードウェア A

説明: フェンジャーメカニズムでテープドライブとの通信に困難があります。

1. オートローダーを外にしてから、内にしてください。
2. 操作を再起動します。
3. 引き続き問題が解決しない場合は、テープドライブのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。

エラー番号 1340 - テープアラート - 重要 - ロダーストレイテープ

説明: 前のハードウェア故障により、オートローダーにテープが残っています。

1. 空のマガジンを挿入し、故障を解決してください。
2. 故障が解決しない場合は、オートローダーをオフにしてから、再びオンにしてください。引き続き問題が解決しない場合は、テープドライブのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。

エラー番号 1341 - テープアラート — 重要 — ロダーハードウェア B

説明: オートローダーメカニズムに問題があります。

エラー番号 1342 - テープアラート — 重要 — ロダードア

説明: オートローダーのドアが開いているため操作が失敗しました。

1. オートローダーのドアから障害物を取り除いてください。
2. マガジンを取り除き、もう一度それを挿入してください。
3. 故障が解決しない場合は、オートローダーをオフにしてから、再びオンにしてください。
4. 引き続き問題が解決しない場合は、テープドライブのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。

エラー番号 1343 - テープアラート — 重要 — ロダーハードウェア C

説明: オートローダーにハードウェアの故障があります。

1. オートローダーをオフにしてから、再びオンにしてください。
2. 操作を再起動します。
3. 引き続き問題が解決しない場合は、テープドライブのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。
4. デバイス電源をオフ、オフに切り替えるためのデバイス特有の方法について、オートローダーのユーザーマニュアルをチェックしてください。

エラー番号 1344 - テープアラート — 重要 — ロダーマガジン

説明: オートローダーはマガジンなしでは動作しません。

1. オートローダーにマガジンを挿入してください。
2. 操作を再起動します。

エラー番号 1345 - テープアラート — 警告 — ロダーの予測された故障

説明: チェンジャーメカニズムのハードウェア上の故障が予測されています。テープドライブのメーカーのヘルプラインを呼び出します。

エラー番号 1349 - テープアラート — 警告 — 統計が失われています

説明: 過去においてメディア統計が失われているときがあります。

エラー番号 1350 - テープアラート — 警告 — テープディレクトリがアンロード時に無効です

説明: アンロードしたばかりのテープカートリッジのテープディレクトリが破損しています。ファイル検索のパフォーマンスがグレードダウンするでしょう。

エラー番号 1351 - テープアラート — 重要 — テープシステム領域書き込み障害

説明: アンロードしたばかりのテープで、システム領域に正常に書き込むことができません。

1. 別のテープカートリッジにデータをコピーしてください。
2. 古いテープを捨ててください。

エラー番号 1352 - テープアラート — 重要 — テープシステム領域読み取り障害

説明: テープシステム領域で、ロード時に正常に読み込むことができませんでした。

1. 別のテープカートリッジにデータをコピーしてください。
2. 古いテープを捨ててください。

エラー番号 1353 - テープアラート — 重要 — データが開始しません

説明: テープ上にデータの開始が見つかりません。

1. 正しいフォーマットのテープを使用していることを確認してください。
2. テープを破棄するか、メーカーにテープを返してください。

エラー番号 1400 - テープアラート — 重要 — ライブラリハードウェア A

説明: ライブラリチェンジャーメカニズムでテープドライブとの通信に困難があります。

1. ライブラリをリセットしてから、再びリセットしてください。
2. 操作を再起動します。
3. 引き続き問題が解決しない場合は、ライブラリのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。

エラー番号 1401 - テープアラート — 重要 — ライブラリハードウェア B

説明: ライブラリメカニズムに問題があります。引き続き問題が解決しない場合は、ライブラリのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。

エラー番号 1402 - テープアラート — 重要 — ライブラリハードウェア C

説明: ライブラリにハードウェアの故障があります。

1. ライブラリをリセットします。
2. 操作を再起動します。
3. デバイスのリセットのデバイス特有の方法について、ライブラリユーザマニュアルを確認してください。

エラー番号 1403 - テープアラート — 重要 — ライブラリハードウェア D

説明: ライブラリにハードウェアの故障があります。

1. ライブラリをリセットしてから、再びリセットしてください。
2. 操作を再起動します。
3. 引き続き問題が解決しない場合は、ライブラリのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。
4. デバイス電源をリセット、または切り替えるためのデバイス特有の方法について、ライブラリのユーザマニュアルを確認してください。

エラー番号 1404 - テープアラート — 警告 — 必要なライブラリの診断

説明: ライブラリメカニズムにハードウェアの故障がある可能性があります。問題を検証し、診断するために、拡張診断を実行してください。拡張診断テストを実行するデバイス特有の方法について、ライブラリユーザマニュアルを確認してください。

エラー番号 1405 - テープアラート — 重要 — ライブラリインターフェース

説明: ライブラリにホストインターフェースの問題があります。

1. ケーブルとケーブル接続を確認してください。
2. 操作を再起動します。

エラー番号 1406 - テープアラート — 警告 — ライブラリの予測された故障

説明: ライブラリのハードウェア上の故障が予測されています。ライブラリのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。

エラー番号 1407 - テープアラート — 警告 — ライブラリ保守

説明: ライブラリの予防メンテナンスが必要です。デバイス特定の予防メンテナンスタスクについてはライブラリユーザマニュアルを確認するか、ライブラリのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。

エラー番号 1408 - テープアラート — 重要 — ライブラリの湿度制限

説明: ライブラリの内部の一般的な環境条件が湿度の指定を超えています。

エラー番号 1409 - テープアラート — 重要 — ライブラリの温度制限

説明: ライブラリの内部の一般的な環境条件が温度の指定を超えています。

エラー番号 1410 - テープアラート — 重要 — ライブラリの電圧制限

説明: ライブラリへの電圧供給が指定を超えています。潜在的な電源の問題または冗長電源の故障があります。

エラー番号 1411 - テープアラート — 重要 — ライブラリストレイプ

説明: 前のハードウェア故障により、ライブラリの中にテープが残っています。

1. 空のマガジンを挿入し、故障を解決してください。
2. 故障が解決しない場合は、オートローダーをリセットしてから、再びリセットしてください。
3. 引き続き問題が解決しない場合は、ライブラリのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。

エラー番号 1412 - テープアラート — 警告 — ライブラリの予測された故障

説明: ドライブ イジェクト カートリッジのショートまたはスロットからカートリッジを取り出すときのライブラリ メカニズムに潜在的な問題があります。

1. 今回は、アクションの必要がありません。
2. 引き続き問題が解決しない場合は、ライブラリのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。

い。

エラー番号 1413 - テープアラート — 警告 — ライブラリの予測された故障

説明: カートリッジをスロットに入れるときにライブラリ メカニズムに潜在的な問題があります。

1. 今回は、アクションの必要がありません。
2. 引き続き問題が解決しない場合は、ライブラリのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。

エラー番号 1414 - テープアラート — 警告 — ライブラリのロード再試行

説明: カートリッジのロードを行うドライブやライブラリ メカニズムに問題があるか、カートリッジに互換性がありません。

エラー番号 1415 - テープアラート — 重要 — ライブラリドア

説明: ライブラリのドアが開いているため操作が失敗しました。

1. ライブラリのドアから障害物を取り除いてください。
2. ライブラリのドアを閉じてください。
3. 引き続き問題が解決しない場合は、ライブラリのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。

エラー番号 1416 - テープアラート — 重要 — ライブラリ メールスロット

説明: ライブラリ メディアのインポート/エクスポート メールスロットに機械的な問題があります。

エラー番号 1417 - テープアラート — 重要 — ライブラリ マガジン

説明: ライブラリはマガジンなしでは動作しません。

1. ライブラリにマガジンを挿入してください。
2. 操作を再起動します。

エラー番号 1418 - テープアラート — 警告 — ライブラリのセキュリティ

説明: ライブラリのセキュリティが補償されています。

エラー番号 1419 - テープアラート — 警告 — ライブラリのセキュリティモード

説明: ライブラリのセキュリティ モードが変更されています。ライブラリがセキュア モードになっているか、ライブラリがセキュア モードを解除しています。これは参照情報です。アクションは必要ありません。

エラー番号 1420 - テープアラート - 情報 - ライブリ オフライン

説明: ライブリがマニュアルでオフラインに切り替えられ、使用できません。

エラー番号 1421 - テープアラート - 情報 - ライブリ ドライブ オフライン

説明: ライブリの中のドライブがオフラインになっています。これは参照情報です。アクションは必要ありません。

エラー番号 1422 - テープアラート - 警告 - ライブリ スキャン再試行

説明: バーコード ラベルまたはライブリ メカニズムのスキャン ハードウェアに潜在的な問題があります。

1. 今回は、アクションの必要がありません。
2. 引き続き問題が解決しない場合は、ライブリのメーカーのヘルプラインにお問い合わせください。

エラー番号 1423 - テープアラート - 重要 - ライブリ インベントリ

説明: ライブリのインベントリに矛盾が検出されました。

1. 矛盾を修正するために、ライブリ インベントリをやり直してください。
2. 操作を再起動します。
3. ライブリ インベントリの特定のやり直しの方法については、アプリケーションのユーザ マニュアルまたはハードウェアのユーザ マニュアルをチェックしてください。

エラー番号 1424 - テープアラート - 警告 - ライブリの無効な操作

説明: 今回、ライブリ操作で無効な試行が行われました。

エラー番号 1425 - テープアラート - 警告 - デュアルポート インターフェイス エラー

説明: ライブリの冗長インターフェイス ポートが故障しました。

エラー番号 1426 - テープアラート - 警告 - 冷却ファンの故障

説明: ライブリの冷却ファンが故障しました。

エラー番号 1427 - テープアラート - 警告 - 電源

説明: ライブリの中で冗長電源が故障しました。故障した電源の交換方法については、ライブリのユーザ マニュアルをチェックしてください。

エラー番号 1428 - テープアラート - 警告 - 消費電力

説明: ライブリの消費電力が指定範囲外です。

エラー番号 1429 - テープアラート - 重要 - パススルー メカニズムの故障

説明: 2 つのライブリ モジュールの間で、カートリッジのパススルー メカニズムに故障が起きました。

エラー番号 1430 - テープアラート - 重要 - パススルー メカニズムのカートリッジ

説明: 前のハードウェア故障からライブリのパススルー メカニズムでカートリッジが残っています。この故障を解決する方法については、ライブリのユーザ ガイドをチェックしてください。

エラー番号 1431 - テープアラート - 情報 - 読み取り不能なバーコード ラベル

説明: ライブリはカートリッジのバーコードを読み取ることができませんでした。

エラー番号 1500 - モジュールをリストできません

説明: 災害回復マネージャで、回復パッケージにどのモジュールを含む必要があるかを判断するためにロードされたモジュールをリストできません。

エラー番号 1501 - モジュールが多すぎます

説明: 災害回復マネージャは、回復プロセスをサポートするために必要なモジュールが多すぎると判断しました。サーバから未使用のモジュールを一部、アンロードしてみてください。

エラー番号 1502 - NCF ファイルが見つかりません

説明: STARTUP.NCF ファイルまたは AUTOEXEC.NCF ファイルのいずれかを見つけることができません。このファイルは、回復プロセスに使用する必要があるモジュールを判断するために災害回復マネージャに必要です。

エラー番号 1503 - PCK ファイルが無効です。

説明: パッケージ ファイルをアンパックしようとしたときに、ファイル自体の中にエラーが見つかりました。これは恐らく、フロッピーが不良であるか、テープが不良であることが原因です。別のメディアのセットを使ってもう一度操作を行ってみてください。

エラー番号 1504 - 一時ディレクトリを作成してください

説明: 回復マネージャはターゲット ブート ボリュームの一時回復ディレクトリを作成できませんでした。

エラー番号 1505 - DOS が認識できません

説明: 実行中の DOS がサポートされていないか、認識されていません。MS-DOS、DR-DOS、または PC-DOS のいずれかを実行する必要があります。

エラー番号 1506 - パーティション読み取りエラー

説明: 新しく作成したパーティションから読み取ろうとしている間にエラーが発生しました。

エラー番号 1507 - パーティション書き込みエラー

説明: 新しく作成したパーティションに書き込もうとしている間にエラーが発生しました。

エラー番号 1508 - ドライブ パラメータを取得

説明: 回復マネージャは現在のドライブ パラメータを取得できませんでした。このことは、新しいパーティションを正しくセットアップできるようにするために必要です。

エラー番号 1509 - パーティションが小さすぎます

説明: 指定されたパーティションのサイズが小さすぎます。使用可能な最小のパーティションは、4 メガバイトまたは 1 ディスク シリクタ（いずれか小さい方）です。

エラー番号 1510 - ディスクがいっぱいです

説明: 新しく作成したパーティションに書き込もうとしている間、ディスク マネージャはそのディスクがいっぱいであると判断しました。

エラー番号 1511 - ハンドルがこれ以上ありません

説明: ファイルを開くか、作成しようとしている間、ディスクマネージャでファイル ハンドルが足りなくなりました。

エラー番号 1512 - ハンドルが無効です

説明: ディスクから読み取ったり、ディスクに書き込もうとしている間に、ディスク マネージャに無効なファイル ハンドルが与えられました。

エラー番号 1513 - データ終了

説明: ファイルから読み込もうとしている間に、ディスク マネージャがファイルの末尾に到達したと判断しました。

エラー番号 1514 - ファイルがすでに存在しています

説明: ファイルを作成しようとしている間に、ディスク マネージャはファイルがすでに存在していると判断しました。

エラー番号 1515 - ファイルが見つかりません

説明: ファイルを開こうとしている間に、ディスク マネージャはファイルが存在しないことを判断しました。

エラー番号 1516 - ルートがいっぱいです

説明: ファイルを作成しようとしたときに、ルート ディレクトリがいっぱいになりました。

エラー番号 1517 - 絶対パスではありません

説明: ディスク マネージャが絶対パスのみをサポートしています。

エラー番号 1518 - ディレクトリが見つかりません

説明: ファイル名またはパスで指定されたディレクトリが見つかりません。

エラー番号 1519 - セクタが多すぎます

説明: ディスクから読み込み、またはディスクへ書き込みを試みているとき、ディスク マネージャは 1 回の呼び出しで転送できるよりも多くのセクタを転送するように要求されました。

エラー番号 1520 - ホスト名がありません

説明: DrMgr.Ini ファイルには回復されたシステムのホスト名が含まれません。

エラー番号 1521 - 災害回復がロードされません

説明: 災害回復モジュールが現在ロードされていません。再インストールが必要になるかもしれません。

エラー番号 1522 - リポート

説明: 災害回復マネージャは、先に進むためにシステムを再起動することを要求します。

エラー番号 1523 - サーバ情報の取得/セットが失敗しました

説明: サーバ情報を取得または設定しようとしたときに、回復不能なエラーが起きました。サーバ情報には、ディスク ドライブ、レイアウト、レジストリなどの構成情報が含まれます。操作をもう一度試み、エラーが引き続き残るようであればサポートの専門家に連絡してください。エラーの正確な原因を調べるためには、TapeWare ホーム ディレクトリの TWTrace.Txt ファイルを調べてください。

エラー番号 1524 - DOS がありません

説明: DOS が今回、メモリから削除されました。災害回復をサポートするために、DOS ドライブのバックアップが必要であるため、DOS が必要です。AUTOEXEC.NCF ファイルから REMOVE DOS 行を削除し、サーバを再起動してください。

エラー番号 1525 - サーバ情報が無効です

説明: 重要なサーバ構成を回復するために指定した情報が無効です。

エラー番号 1526 - サーバ情報が古いものです。

説明: 重要なサーバ構成を回復す・驟ために指定した情報が古く、別のバージョンの災害回復マネージャが必要です。